

長期処方及びリフィル処方箋の 実施状況調査報告書(案) ＜概要＞

調査の概要①

1 調査の目的

○ 令和6年度診療報酬改定において、長期処方及びリフィル処方を適切に推進する観点から、処方料及び処方箋料の特定疾患処方管理加算の見直しが行われた。

また、かかりつけ医機能の評価である地域包括診療料等について、患者の状況等に合わせた医師の判断により、長期処方やリフィル処方を活用することが可能であることを、患者に周知することを要件に追加した。

これらを踏まえ、本調査では、改定に係る影響等について調査・検証を行った。

※ 本調査で「長期処方」とは28日以上処方(リフィル処方を除く)のことを指す。

2 調査の対象

本調査では、「病院・診療所調査」、「医師調査」、「保険薬局調査」、「患者調査(郵送調査)」及び「患者調査(インターネット調査)」の5つの調査を実施した。各調査対象は次のとおり。

(1) 病院・診療所調査

- ・ 令和6年3月から5月の間に、2件以上のリフィル処方箋の発行実績がある病院
- ・ 同期間にリフィル処方箋の発行実績がない病院

上記合計1,000施設

- ・ 令和6年3月から5月の間に、5件以上のリフィル処方箋の発行実績がある診療所
- ・ 同期間にリフィル処方箋の発行実績がない診療所

上記合計1,000施設

(2) 医師調査

病院・診療所調査の対象施設で外来診療を担当する常勤医師のうち、各施設から2名(リフィル処方箋発行経験の有無等で抽出)

調査の概要②

2 調査の対象(続き)

(3) 保険薬局調査

- ・ 令和6年5月調剤分に、5件以上のリフィル処方箋の受付実績がある薬局
- ・ 上記期間にリフィル処方箋の受付実績がない薬局

上記合計1,000施設

(4) 患者調査(郵送調査)

- ・ 病院・診療所調査の対象施設に調査期間中に受診した外来患者2名
- ・ 保険薬局調査の対象施設に調査期間中に来局した患者のうち、1施設につき2名

(5) 患者調査(インターネット調査)

- ・ 直近3か月間で保険薬局に処方箋を持って来局した患者のうち、性・年代別に等分し、無作為抽出した3,000人

3 調査の方法

○ 「病院・診療所調査」「保険薬局調査」は、対象施設に対して自記式調査票・依頼状を郵送配布し、「患者調査(郵送調査)」「医師調査」は、対象施設経由で自記式調査票ないし依頼状を配布し、直接の回答を依頼した。

○ 「病院・診療所調査」「保険薬局調査」における対象施設からの回答方法は、

- ・ 同封の返信用封筒により、記入済の紙の調査票を返送してもらう方法
- ・ 調査専用のウェブサイトから電子調査票をダウンロードし、記入済のファイルをメールで調査事務局あて送付してもらう方法

の2種類のうち、対象施設にて選択を可能にした。また、「医師調査」は、調査専用のウェブサイト上、「患者調査(インターネット調査)」はインターネット上でそれぞれ回答をいただく方法とした。

調査の概要③

4 回収の状況

- 調査実施時期は令和7年1月6日から1月20日(「患者調査(インターネット調査)」は令和7年1月16日から1月24日)であった。
- 病院・診療所調査は発送数2,000件に対し、有効回答数が527件(有効回答率26.4%)であった。
- 医師調査の有効回答数は、428件であった。
- 保険薬局調査は発送数1,000件に対し、有効回答数が438件(有効回答率43.8%)であった。
- 患者調査の有効回答数は、郵送調査は922件、インターネット調査は3,000件であった。

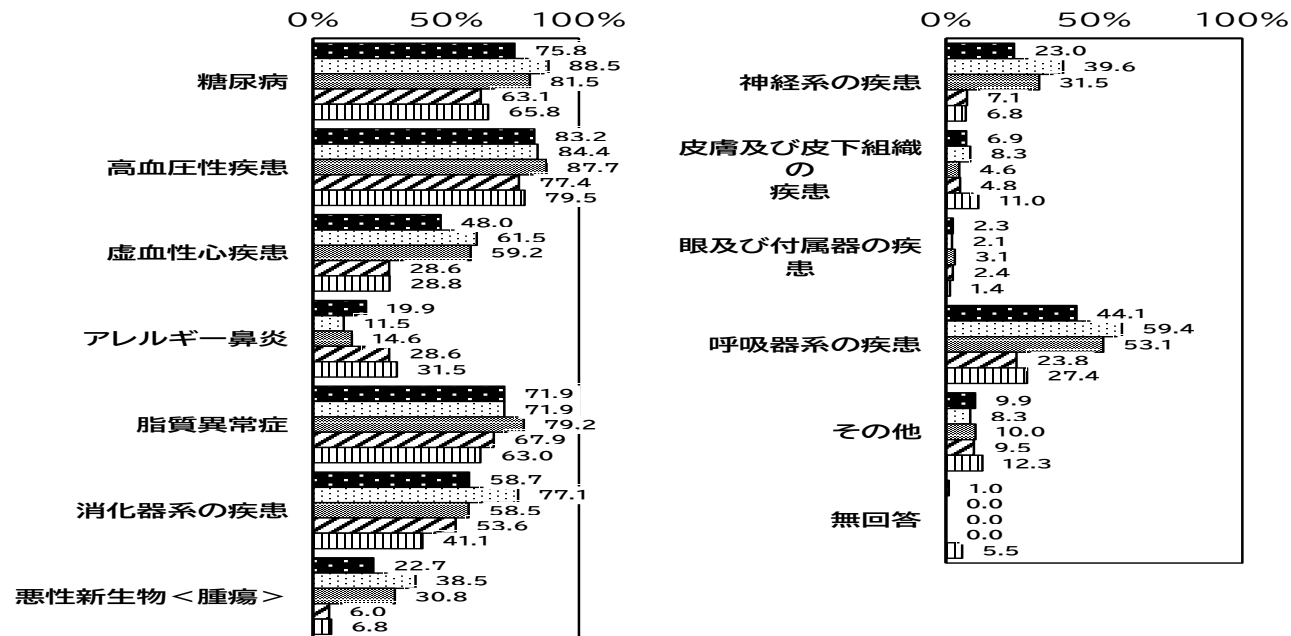
	発送数	有効回答数	有効回答率	令和5年度調査回答率(参考)
(1) 病院・診療所調査	2,000件	527件	26.4%	35.0%
・病院:リフィル発行実績 有り	500件	101件	20.2%	43.0%
・病院:リフィル発行実績 無し	500件	141件	28.2%	29.4%
・診療所:リフィル発行実績 有り	500件	149件	29.8%	38.4%
・診療所:リフィル発行実績 無し	500件	126件	25.2%	29.2%
(2) 医師調査	—	428件	—	—
(3) 保険薬局調査	1,000件	438件	43.8%	58.2%
・リフィル受付実績 有り	500件	255件	51.0%	61.0%
・リフィル受付実績 無し	500件	169件	33.8%	55.2%
(4) 患者調査(郵送調査)	—	922件	—	—
(5) 患者調査(インターネット調査)	—	3,000件	—	—

病院・診療所調査の結果①

診療科において主に対応している患者像（複数回答）（内科と回答した場合）
 （病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（新）（報告書P21）

- リフィル処方箋の発行実績の有る病院では「糖尿病」が最も多く88.5%、発行実績の無い病院では「高血圧性疾患」が87.7%と最も多かった。
- 診療所では、リフィル処方箋の発行実績のある診療所・発行実績のない診療所ともに「高血圧性疾患」がそれぞれ77.4%、79.5%で最も多かった。

令和6年度調査（病院・診療所票） 図表2-15



■全体 n=392
 ■病院・リフィル処方箋発行あり n=96
 ■病院・リフィル処方箋発行なし n=130
 ■診療所・リフィル処方箋発行あり n=84
 ■診療所・リフィル処方箋発行なし n=73

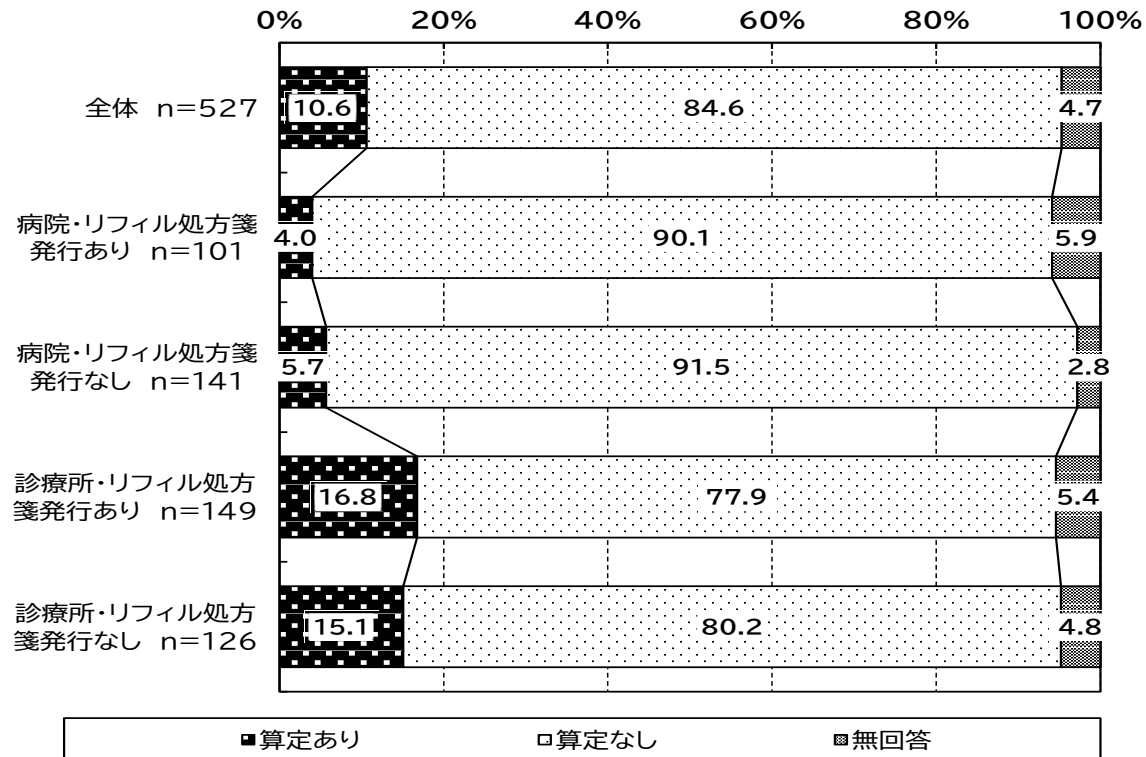
病院・診療所調査の結果②

診療報酬の算定の有無：生活習慣病管理料（Ⅰ）

（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（新）（報告書P28）

- 生活習慣病管理料（Ⅰ）の診療報酬の算定の有無については、
- ・ リフィル処方箋の発行実績のある病院／発行実績のない病院
 - ・ リフィル処方箋の発行実績のある診療所／発行実績のない診療所
- において「算定あり」の割合はそれぞれ、4.0%、5.7%、16.8%、15.1%であった。

令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-23



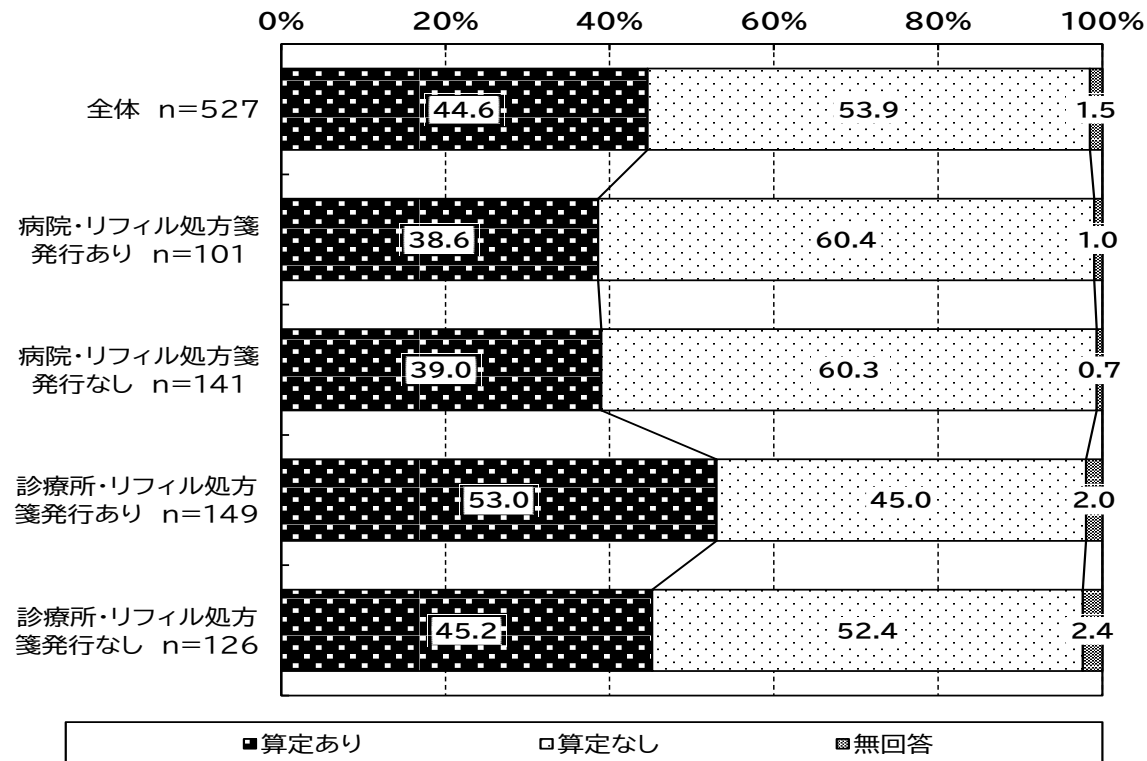
病院・診療所調査の結果③

診療報酬の算定の有無：生活習慣病管理料（Ⅱ）

（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（新）（報告書P30）

- 生活習慣病管理料（Ⅱ）の診療報酬の算定の有無については、
- ・ リフィル処方箋の発行実績のある病院／発行実績のない病院
 - ・ リフィル処方箋の発行実績のある診療所／発行実績のない診療所
- において「算定あり」の割合はそれぞれ、38.6%、39.0%、53.0%、45.2%であった。

令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-24



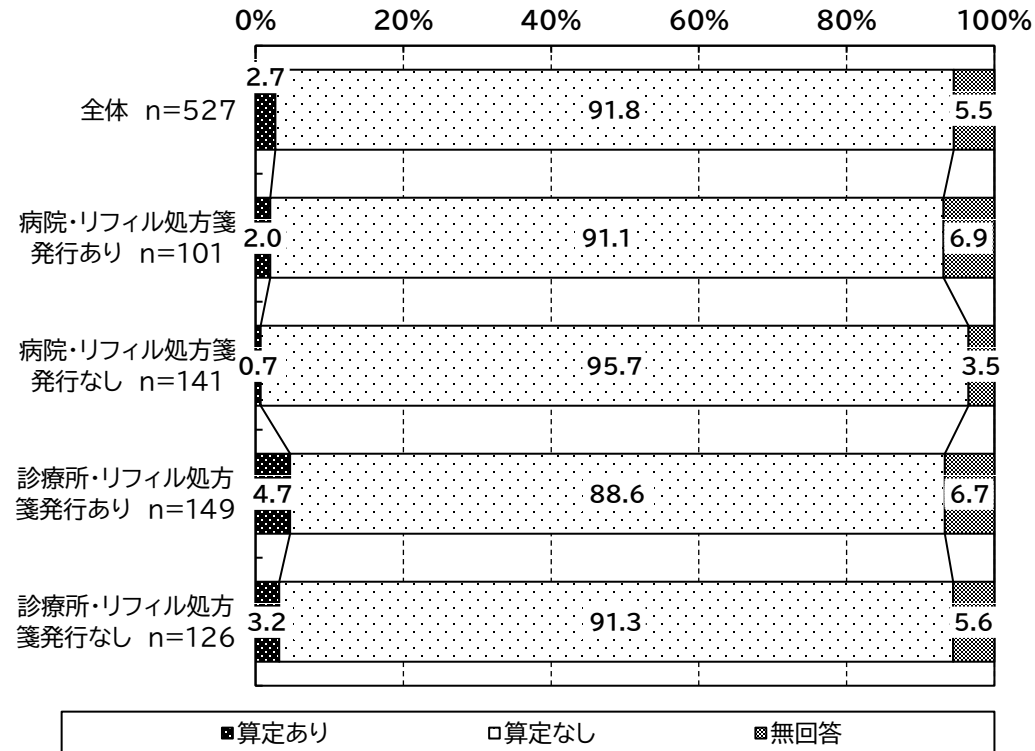
病院・診療所調査の結果④

診療報酬の算定の有無：地域包括診療料（地域包括診療加算）

（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（新）（報告書P33）

- 地域包括診療料（地域包括診療加算）の診療報酬の算定の有無については、
- ・ リフィル処方箋の発行実績のある病院／発行実績のない病院
 - ・ リフィル処方箋の発行実績のある診療所／発行実績のない診療所
- において「算定あり」の割合はそれぞれ、2.0%、0.7%、4.7%、3.2%であった。

令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-26

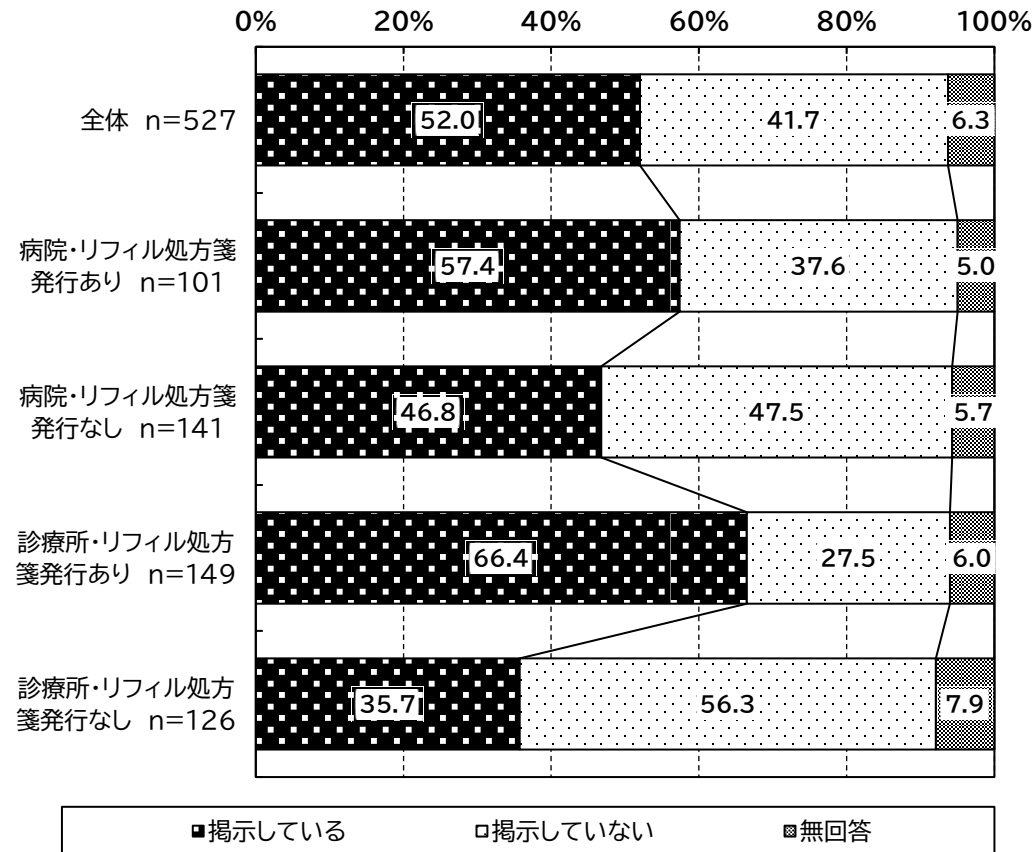


病院・診療所調査の結果⑤

リフィル処方箋または長期処方への対応可能な旨の掲示有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)(新)(報告書P37)

○ リフィル処方箋または長期処方への対応可能な旨の掲示有無については、リフィル処方箋の発行実績のある病院／発行実績のない病院／発行実績のある診療所／発行実績のない診療所において「掲示している」の割合はそれぞれ、57.4%、46.8%、66.4%、35.7%であった。

令和6年度調査(病院・診療所票) 図表2-31

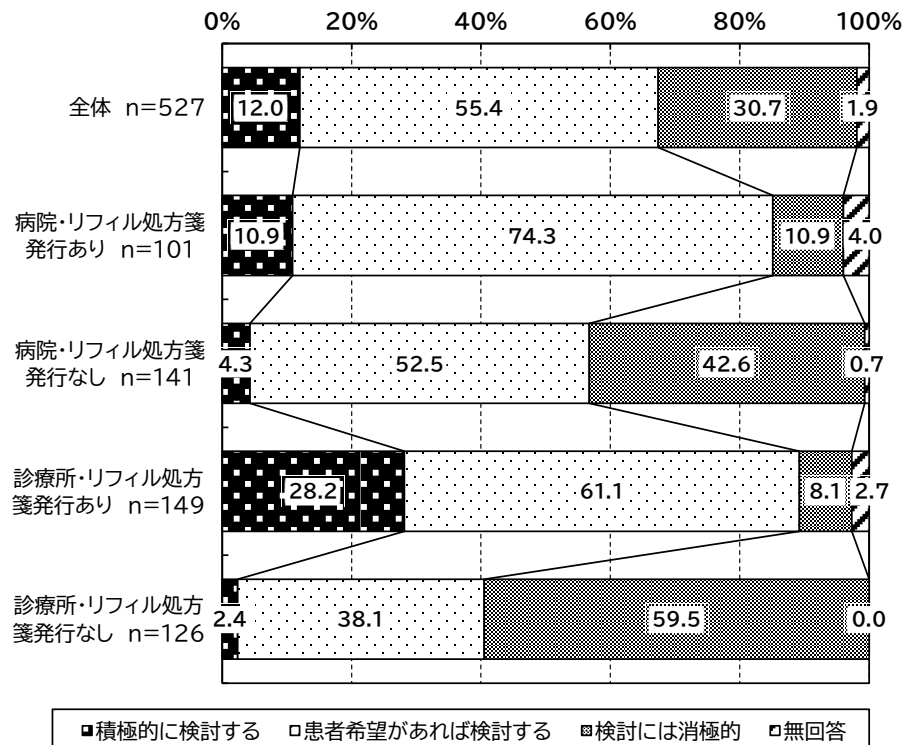


病院・診療所調査の結果⑥

リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)(報告書P38)

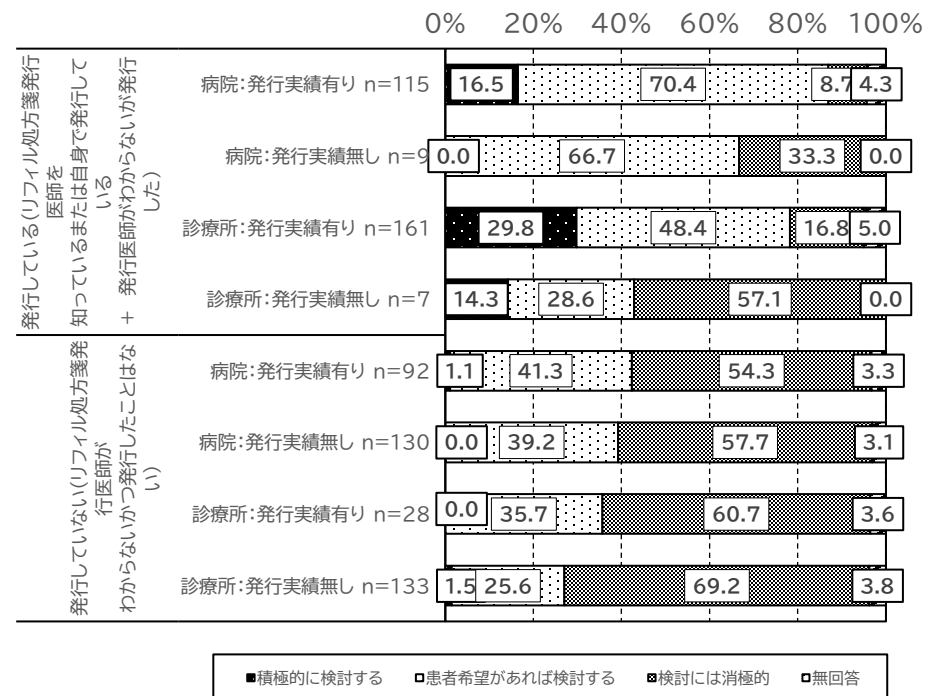
- リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通しは、
 - ・ 病院では、リフィル処方箋発行実績がある病院、発行実績がない病院ともに「患者希望があれば検討する」が最も多くそれぞれ74.3%、52.5%であった。
 - ・ 診療所では、リフィル処方箋発行実績がある診療所では、「患者希望があれば検討する」が最も多く61.1%、発行実績がない診療所では「検討には消極的」が最も多く59.5%であった。

令和6年度調査(病院・診療所票) 図表2-32



参考: 令和5年度調査(病院・診療所票) 図表2-63

リフィル処方箋の発行に係る検討についての今後の見通し
(調査票上の「リフィル処方箋を発行したことがあるか」の回答別・病院診療所別・リフィル処方箋の発行実績の有無別)



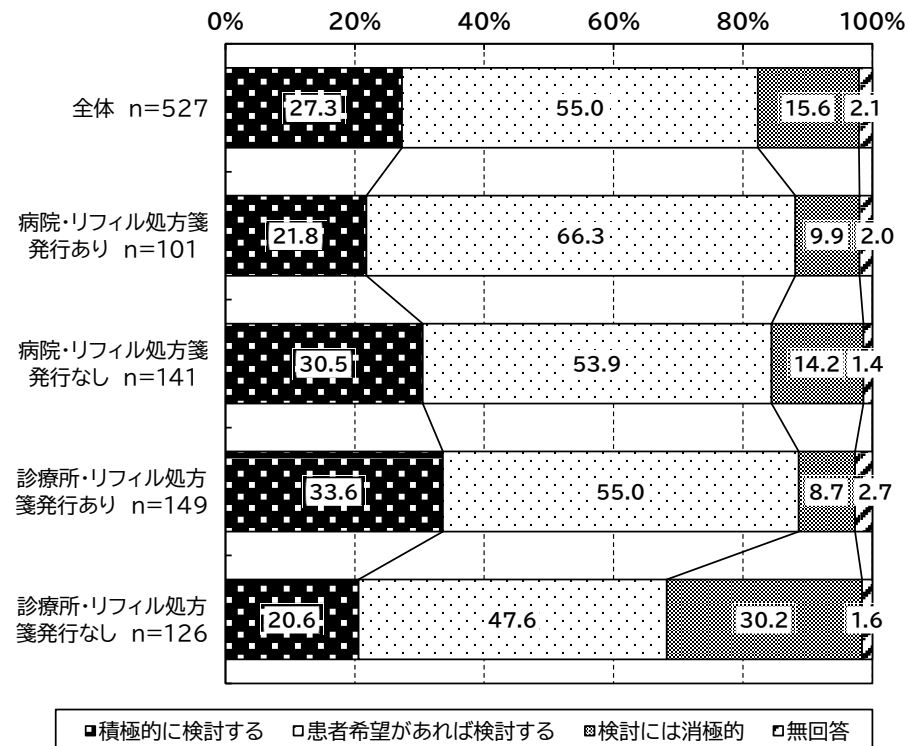
病院・診療所調査の結果⑦

長期処方発行に係る検討についての今後の見通し

(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)(新)(報告書P40)

- 長期処方発行に係る検討についての今後の見通しは、
 - ・ 病院では、リフィル処方箋発行実績がある病院、発行実績がない病院ともに「患者希望があれば検討する」が最も多くそれぞれ66.3%、53.9%であった。
 - ・ 診療所においてもリフィル処方箋発行実績がある診療所、発行実績がない診療所ともに「患者希望があれば検討する」が最も多くそれぞれ55.0%、47.6%であった。

令和6年度調査(病院・診療所票) 図表2-34

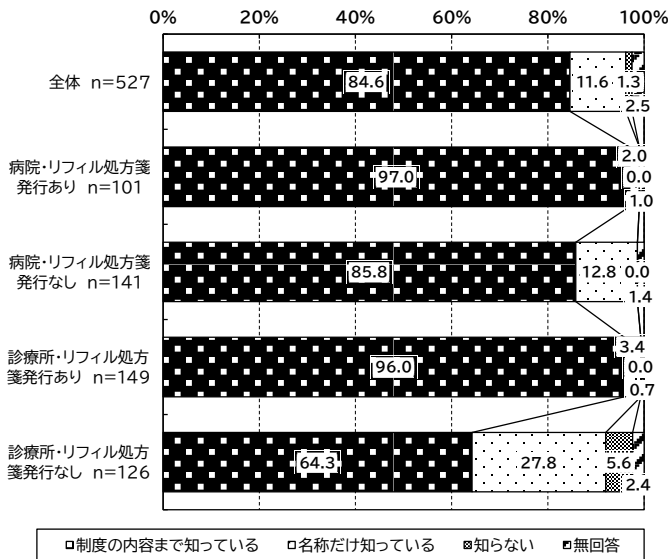


病院・診療所調査の結果⑧

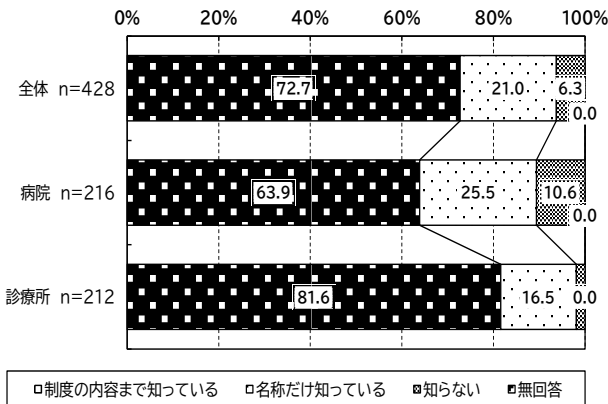
リフィル処方箋の制度の認知度(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)(報告書P42・P59)

- リフィル処方箋の制度の認知度について、
 - ・ リフィル処方箋の発行実績の有る病院／発行実績の無い病院
 - ・ リフィル処方箋の発行実績の有る診療所／発行実績の無い診療所
 において「制度の内容を知っている」の割合はそれぞれ、97.0%、85.8%、96.0%、64.3%であった。
- また、医師で「制度の内容を知っている」の割合は、病院で63.9%、診療所で81.6%であった。

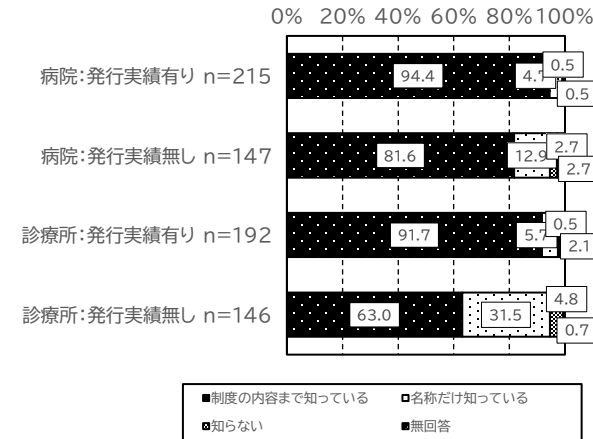
令和6年度調査(病院・診療所票)図表2-36



令和6年度調査(医師票)図表3-9



参考: 令和5年度調査(病院・診療所票)

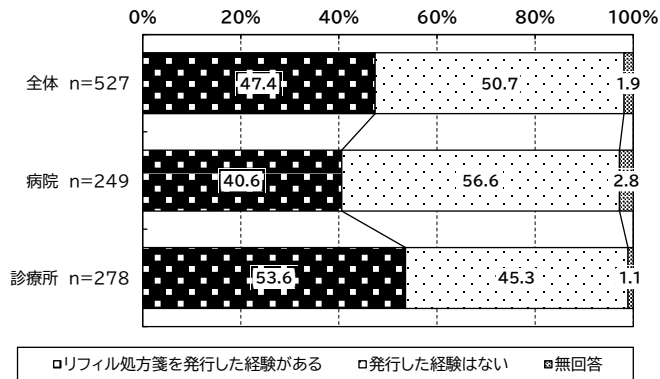


病院・診療所調査の結果⑨

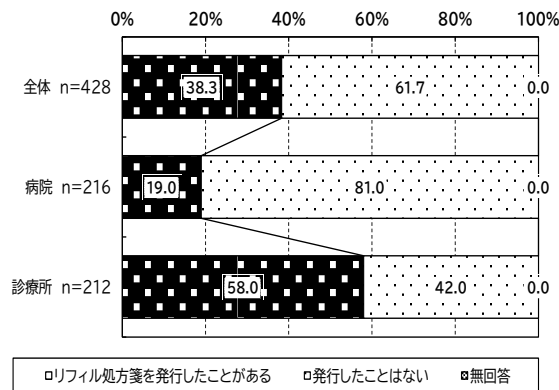
リフィル処方箋の発行経験(病院・診療所別の有無別)(報告書P10・P61)

- リフィル処方箋の発行経験については、病院・診療所において「経験している」割合がそれぞれ40.6%、53.6%であった。
- 医師でみた場合、病院では「リフィル処方箋を発行したことがある」が19.0%であった。一方、診療所ではリフィル処方箋を発行したことがある」は58.0%であった。

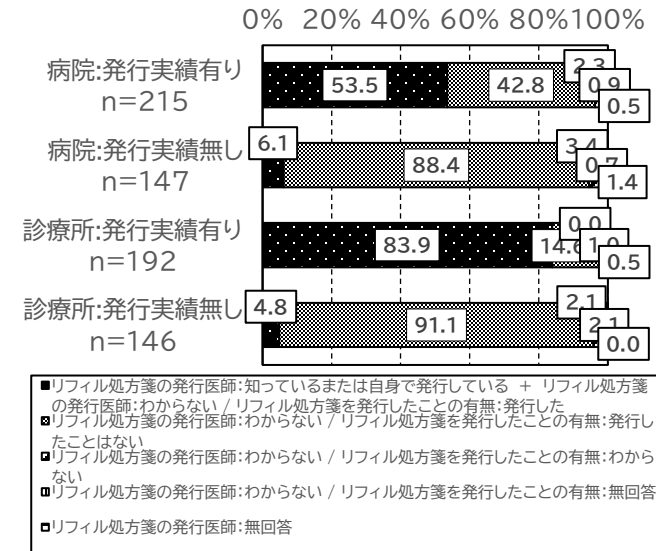
令和6年度調査(病院・診療所票)図表2-1



令和6年度調査(医師票)図表3-11



参考: 令和5年度調査(病院・診療所票)

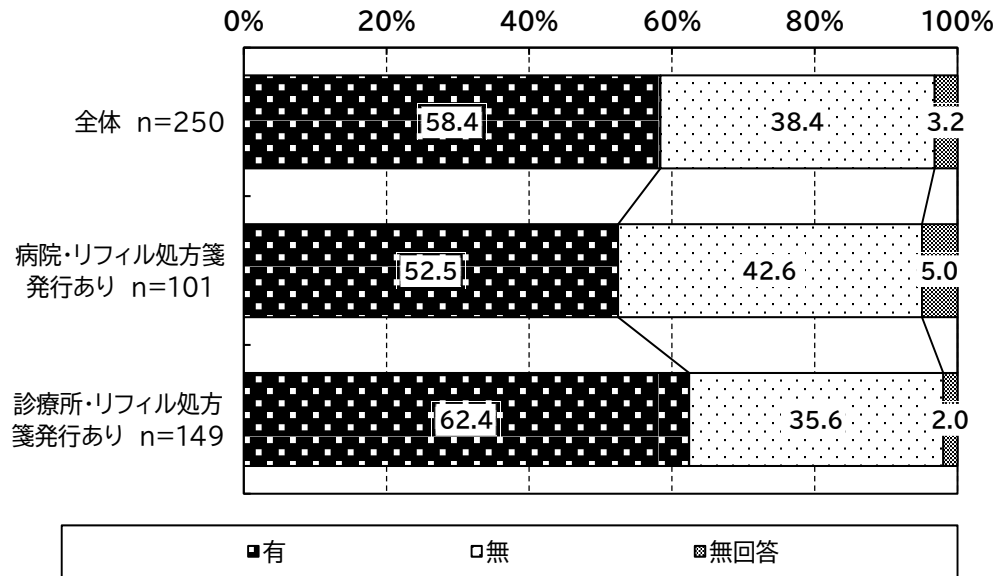


病院・診療所調査の結果⑩

薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)の有無
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)(報告書P44)

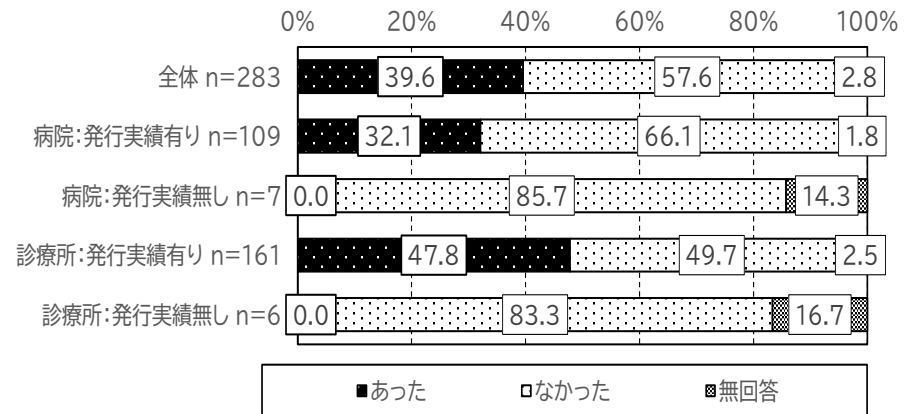
○ リフィル処方箋に関する服薬情報提供書(トレーシングレポート)の有無について、リフィル処方箋を発行した経験がある施設に対して確認した。
その結果、病院では「有」が52.5%、診療所では「有」が62.4%であった。

令和6年度調査(病院・診療所票) 図表2-38



参考: 令和5年度調査(病院・診療所票) 図表2-50

リフィル処方箋に関する薬局からの服薬情報提供書(トレーシングレポート)の有無(院内でリフィル処方箋の発行したことのある医師を知っているまたは自身で発行している施設のみ対象)
(病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別)



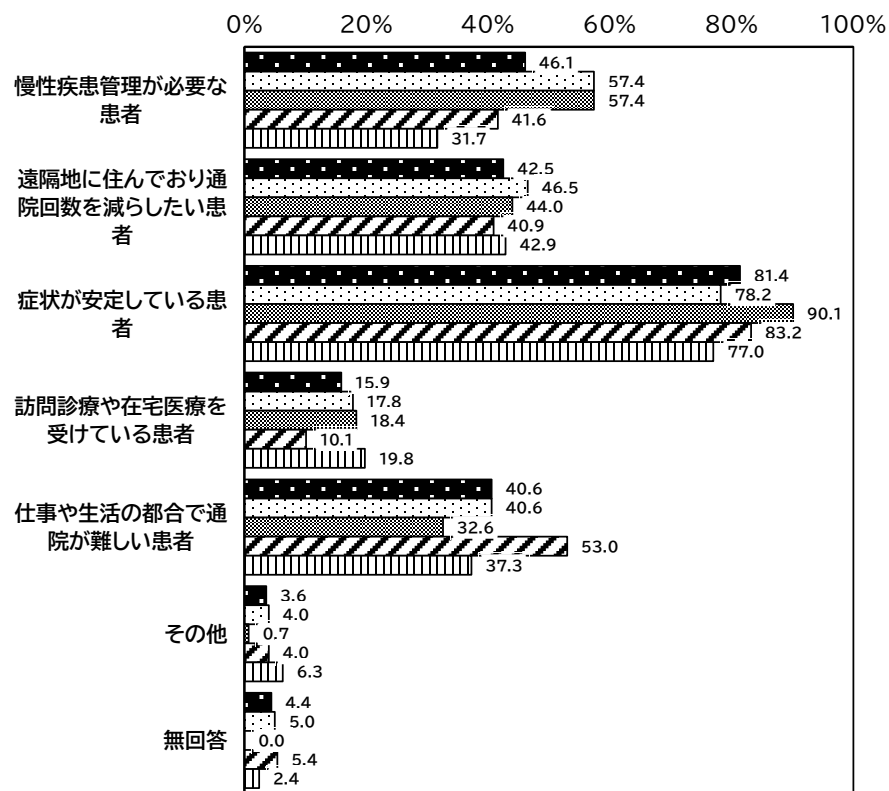
病院・診療所調査の結果⑪

長期処方を発行している（発行が適している）患者

（病院・診療所別、長期処方の発行実績の有無別）（新）（報告書P45）

○ 長期処方を発行している（発行が適している）患者については、いずれの区分においても「症状が安定している患者」が最も多かった。

令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-39



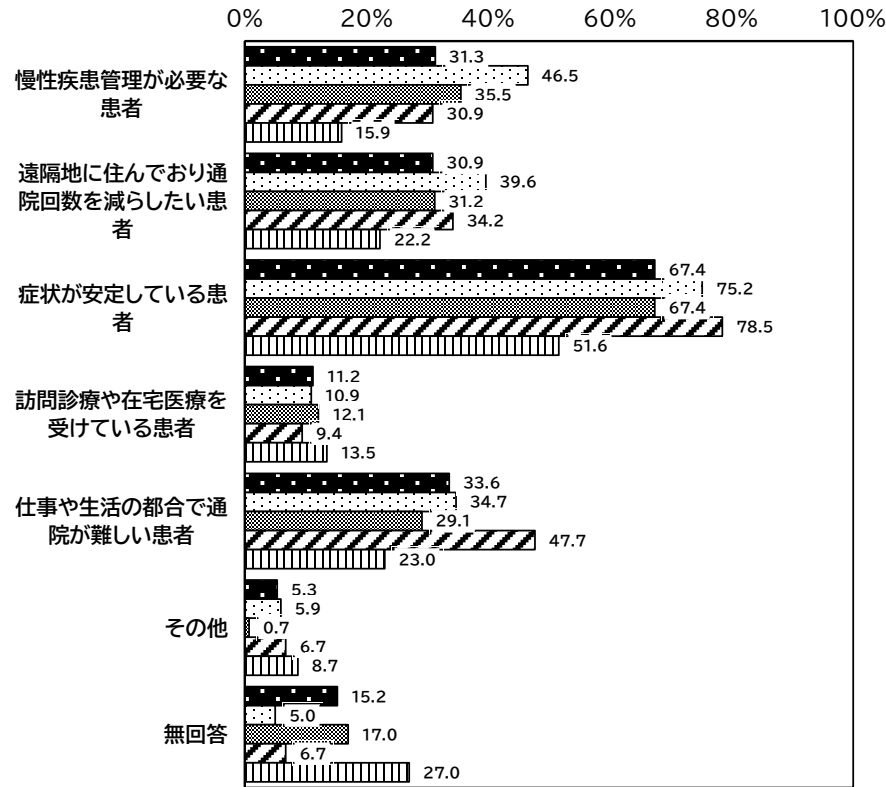
■全体 n=527
 □病院・リフィル処方箋発行あり n=101
 ▨病院・リフィル処方箋発行なし n=141
 □診療所・リフィル処方箋発行あり n=149
 □診療所・リフィル処方箋発行なし n=126

病院・診療所調査の結果⑫

リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者
 （病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（新）（報告書P47）

○ リフィル処方箋を発行している（発行が適している）患者については、いずれの区分においても「症状が安定している患者」が最も多かった。

令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-41



■全体 n=527
 □病院・リフィル処方箋発行あり n=101
 ■病院・リフィル処方箋発行なし n=141
 □診療所・リフィル処方箋発行あり n=149
 □診療所・リフィル処方箋発行なし n=126

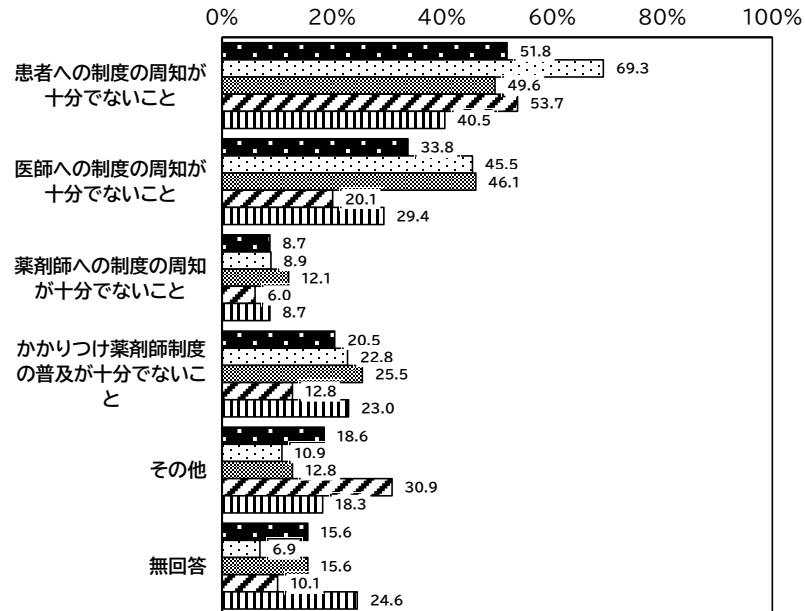
病院・診療所調査の結果⑬

リフィル処方箋の課題と考えられること（複数回答）

（病院・診療所別、リフィル処方箋の発行実績の有無別）（報告書P49）

○ リフィル処方箋の課題と考えられることについては、いずれの区分においても「患者への制度の周知が十分でないこと」が最も多く、次いで「医師への制度の周知が十分でないこと」が続いた。

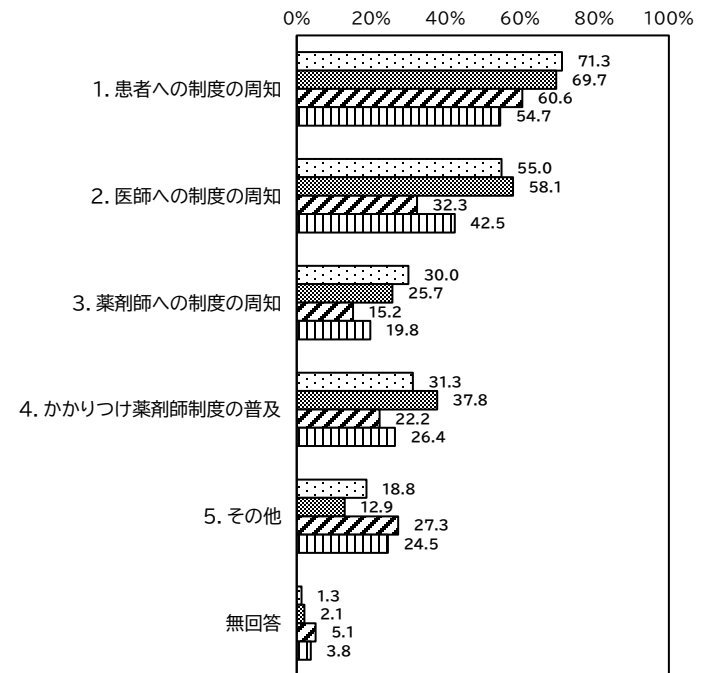
令和6年度調査（病院・診療所票）図表2-43



■全体 n=527
 □病院・リフィル処方箋発行あり n=101
 ▨病院・リフィル処方箋発行なし n=141
 ▩診療所・リフィル処方箋発行あり n=149
 □診療所・リフィル処方箋発行なし n=126

令和5年度調査（病院・診療所票）図表3-20改

このほか、リフィル処方箋の課題と考えられること（病院・診療所別、医師個人のリフィル発行有無別）



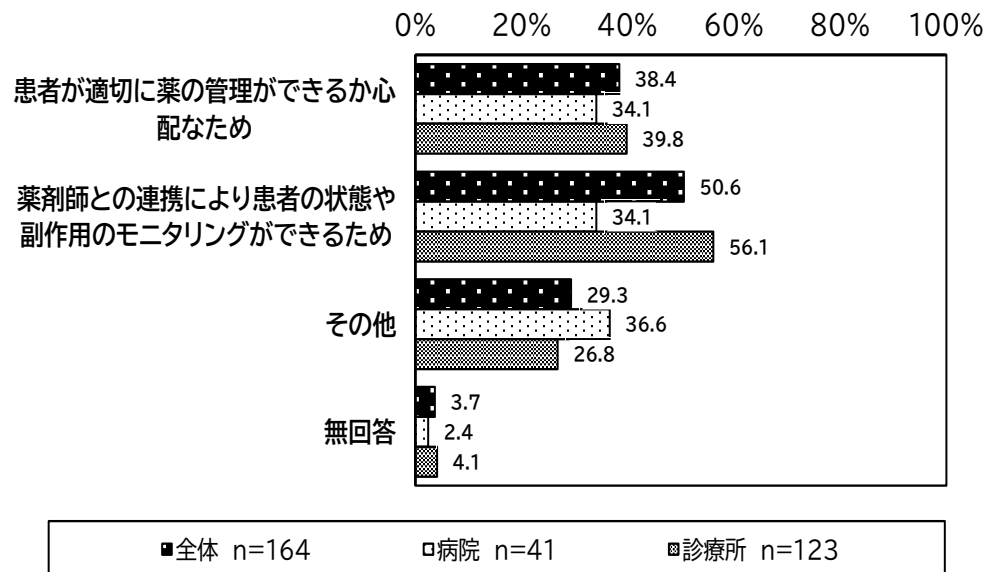
□病院 個人:発行したことがある n=80
 ▨病院 個人:発行したことはない n=241
 ▩診療所 個人:発行したことがある n=99
 □診療所 個人:発行したことはない n=106

医師調査の結果①

長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由（複数回答）
（病院・診療所別）（新）（報告書P64）

- 長期処方ではなくリフィル処方箋を発行する理由について、リフィル処方箋を発行したことがある医師を対象に確認した結果、
- ・病院の医師の場合は「患者が適切に薬の管理ができるか心配なため」と「薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため」がそれぞれ同じ割合（34.1%）であった。
 - ・診療所の医師の場合は「薬剤師との連携により患者の状態や副作用のモニタリングができるため」が最も多く56.1%であった。

令和6年度調査（医師票）図表3-14



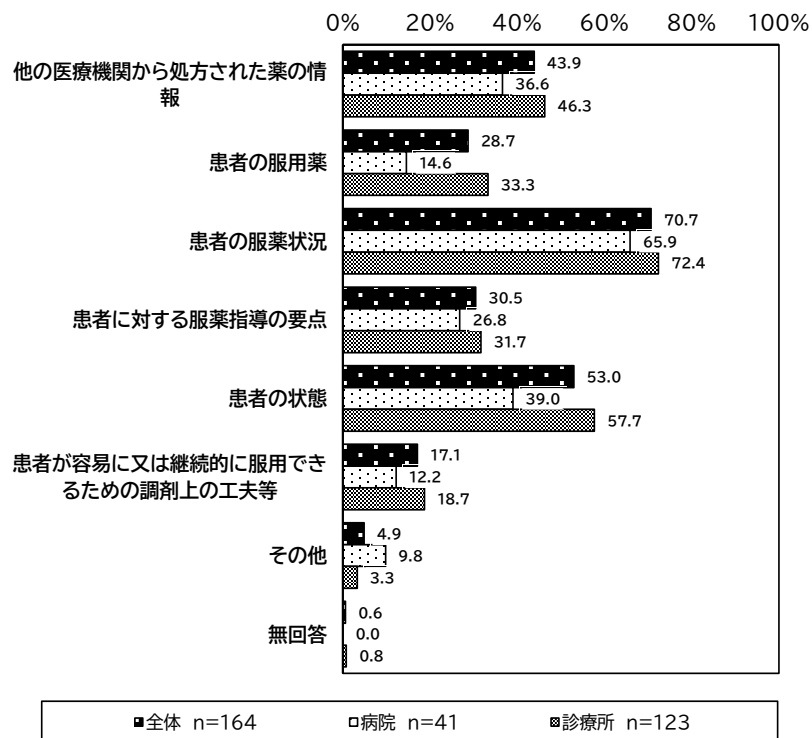
医師調査の結果②

薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）で提供してほしい情報
（複数回答）（病院・診療所別）（新）（報告書P67）

○ 薬局からの服薬情報提供書（トレーシングレポート）で提供してほしい情報について、リフィル処方箋を発行したことがある医師を対象に確認した。

その結果、病院の場合も診療所の場合も「患者の服薬状況」が最も多く、それぞれ65.9%、72.4%であった。

令和6年度調査（医師票）図表3-17

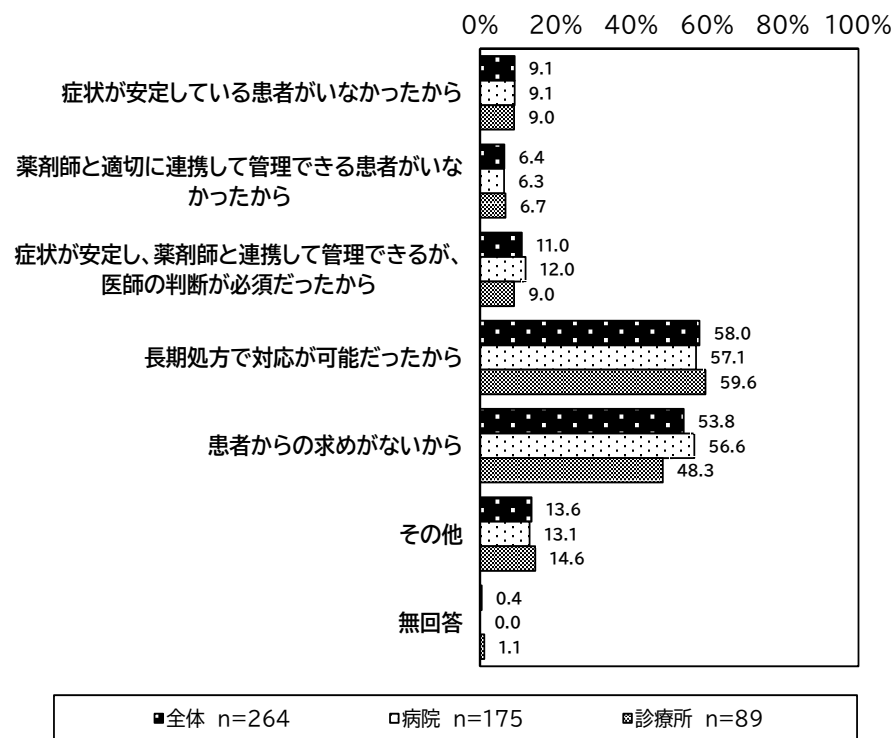


医師調査の結果③

リフィル処方箋を発行しなかった理由（複数回答）
（病院・診療所別）（新）（報告書P68）

○ リフィル処方箋を発行しなかった理由について、リフィル処方箋を発行したことがない医師を対象に確認した。その結果、病院の場合も診療所の場合も「長期処方に対応が可能だったから」が最も多く、それぞれ57.1%、59.6%であった。

令和6年度調査(医師票) 図表3-18



医師調査の結果④

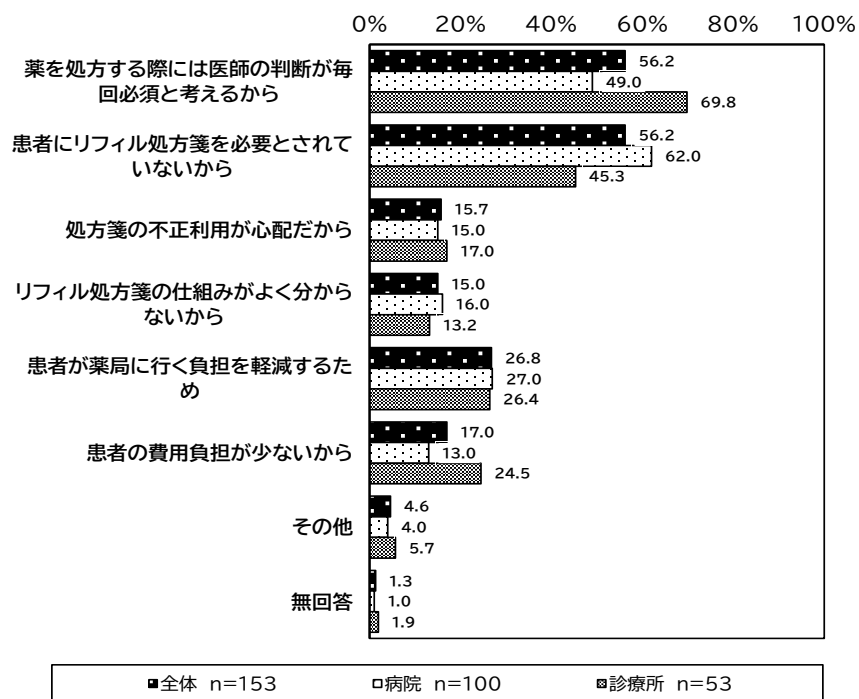
リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由（複数回答）
（病院・診療所別）（新）（報告書P69）

○ リフィル処方箋の発行ではなく長期処方を行った理由について、リフィル処方箋を発行したことがない医師を対象に確認した。

その結果、病院の場合は「患者にリフィル処方箋を必要とされていないから」が最も多く62.0%、次いで「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が多く49.0%であった。

診療所の場合は「薬を処方する際には医師の判断が毎回必須と考えるから」が最も多く69.8%、次いで「患者にリフィル処方箋を必要とされていないから」が多く45.3%であった。

令和6年度調査(医師票) 図表3-19

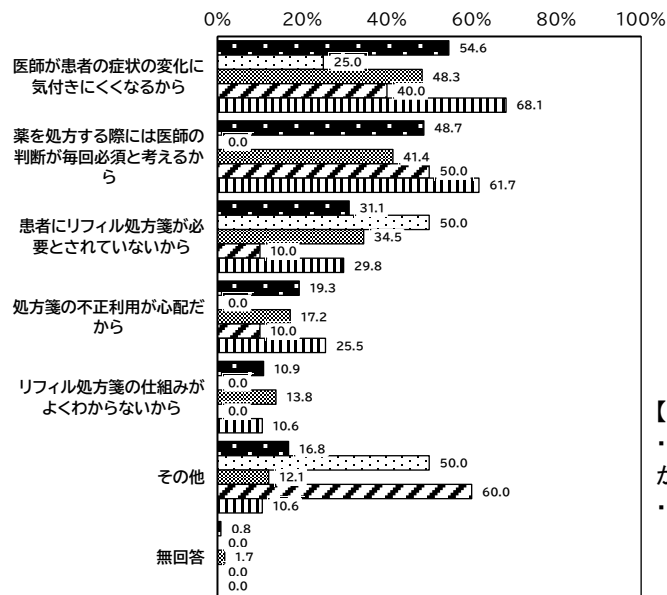


医師調査の結果⑤

リフィル処方箋の発行の検討に消極的な理由(複数回答)(病院・診療所別、医師個人の
リフィル発行有無別)(報告書P73)※今後の見通しに関する設問で「検討に消極的」と回答した医師が対象

- リフィル処方箋の発行の検討に消極的な理由については、
 - ・病院の医師でリフィル処方箋を発行したことがない場合は「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が最も多く48.3%であった。
 - ・診療所の医師でリフィル処方箋を発行したことがある場合は「その他」が最も多く60.0%、診療所の医師でリフィル処方箋を発行したことがない場合も「医師が患者の症状の変化に気付きにくくなるから」が最も多く68.1%であった。

令和6年度調査(医師票) 図表3-23

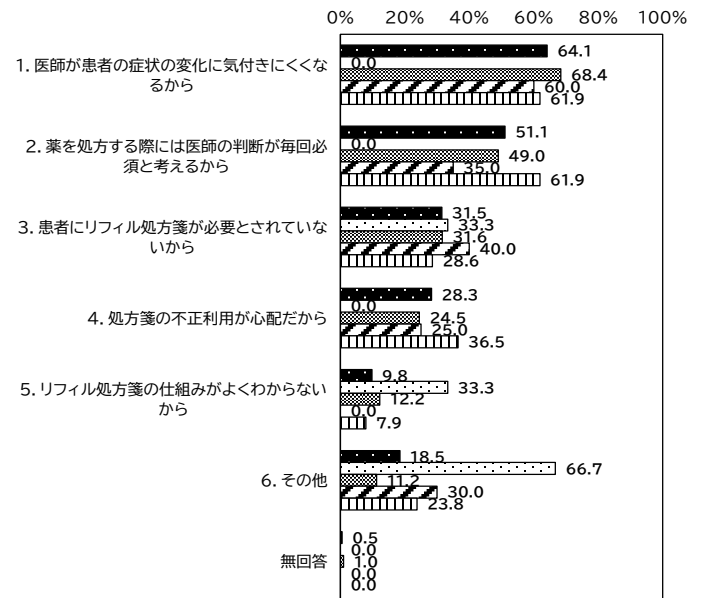


■全体 n=119
 □病院・リフィル処方箋発行あり n=4
 ■病院・リフィル処方箋発行なし n=58
 ■診療所・リフィル処方箋発行あり n=10
 □診療所・リフィル処方箋発行なし n=47

【その他(自由記載)の具体例】

- ・患者は薬局にいくより医院・病院にかかることを好むため(病院医師)。
- ・長期処方十分(病院医師)。

令和5年度調査(病院・診療所票) 図表3-19



■全体 n=184
 □病院 個人:発行したことがある n=3
 ■病院 個人:発行したことはない n=98
 ■診療所 個人:発行したことがある n=20
 □診療所 個人:発行したことはない n=63

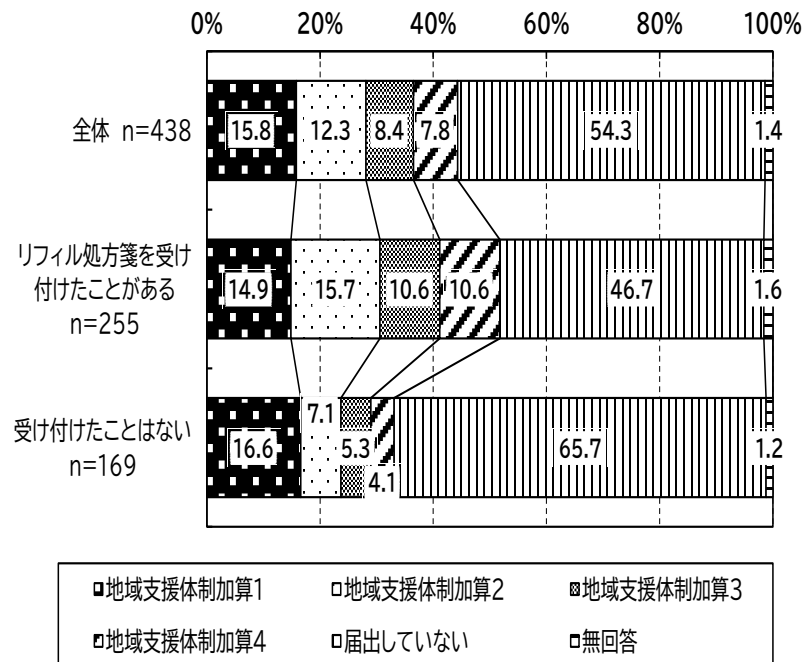
保険薬局調査の結果①

リフィル処方箋の受付実績有無別

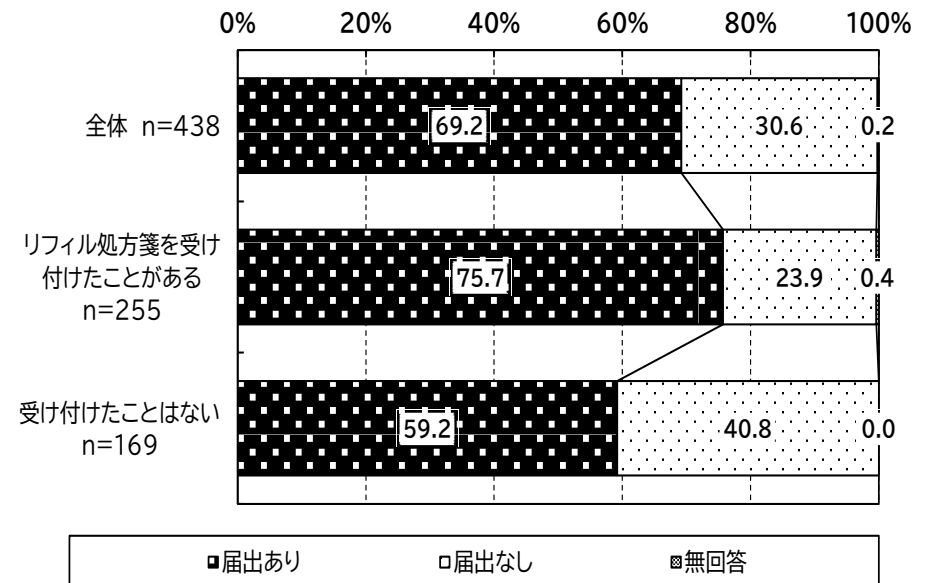
地域支援体制加算及びかかりつけ薬剤師指導料等の届出状況別(新)(報告書P91・P93)

- 地域支援体制加算の届出割合について、リフィル処方箋の受付実績のない薬局における届出割合は33.1%であったのに対し、受付実績のある薬局の届出割合は51.8%と高い傾向がある。
- かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準等の届出状況について、リフィル処方箋の受付実績がない薬局における届出割合は59.2%であったのに対し、受付実績がある薬局の届出割合は75.7%と高い傾向がある。

リフィル処方箋の受付実績有無別 (地域支援体制加算の届出状況別) 図表4-16



リフィル処方箋の受付実績の有無 (かかりつけ薬剤師指導料等の施設基準の届出別) 図表4-18

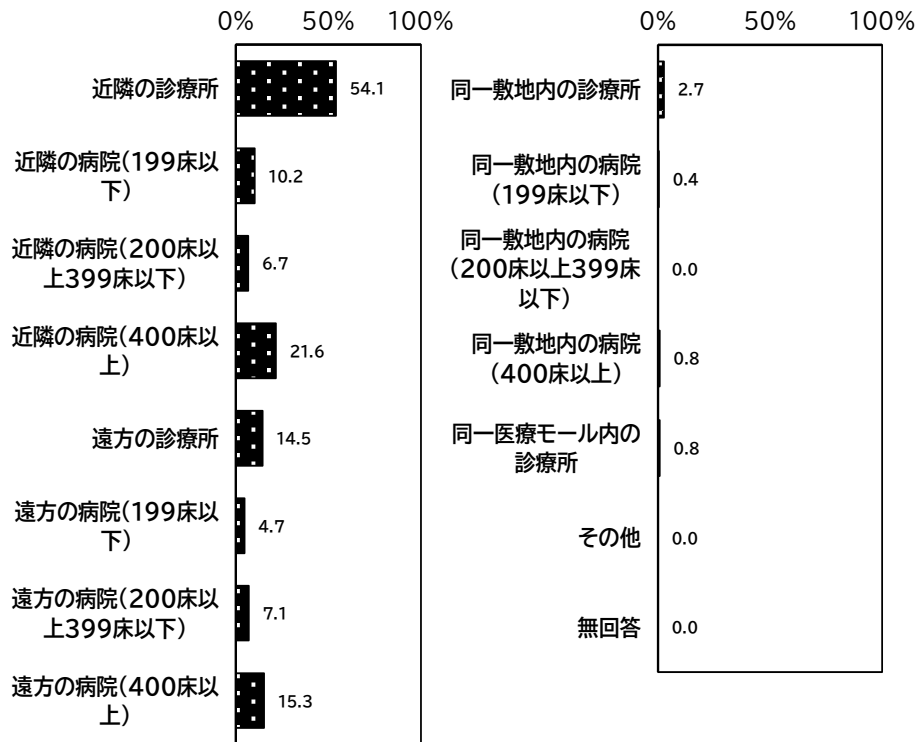


保険薬局調査の結果④

リフィル処方箋や長期処方を発行する医療機関(複数回答)(報告書P112・P133)

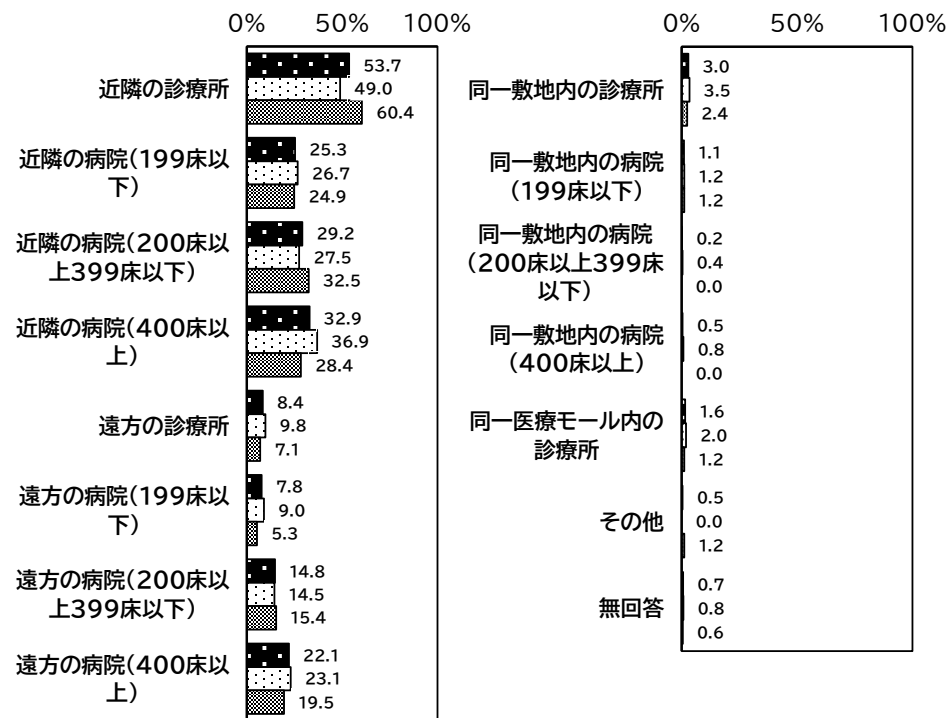
○ リフィル処方箋や長期処方については、「近隣の診療所」が最も多くそれぞれ54.1%、53.7%、次いで「近隣の病院(400床以上)」がそれぞれ21.6%、32.9%であった。

どのような関係の医療機関からリフィル処方箋を受け付けたか(複数回答) 図表4-38



■リフィル処方箋を受け付けたことがある n=255

長期処方を応需する件数が多い医療機関(複数回答) 図表4-65



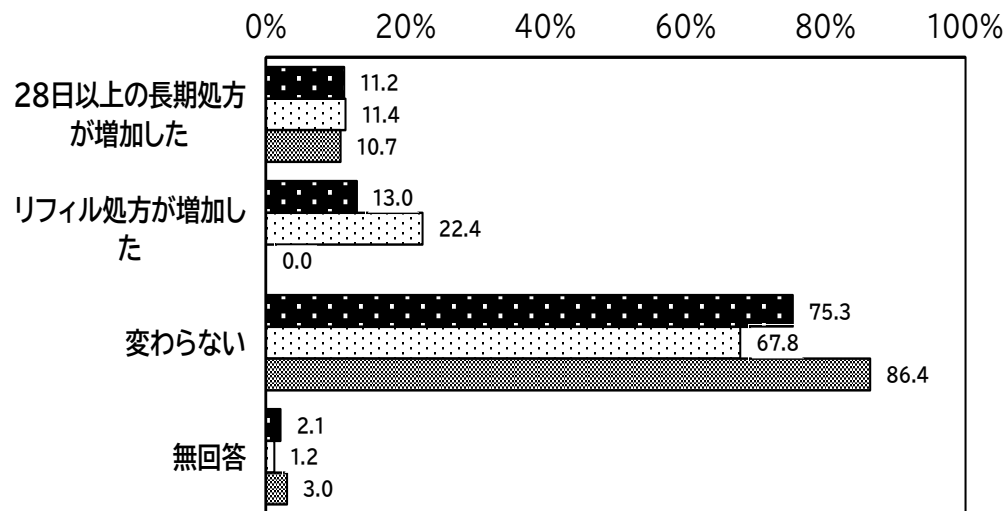
■全体 n=438 □リフィル処方箋を受け付けたことがある n=255 ■受け付けたことはない n=169

保険薬局調査の結果⑦

改定前(令和6年5月以前)と比較して応需する処方箋の変化について
(リフィル処方箋の受付実績有無別)(新)(報告書P135)

○ 改定前(令和6年5月以前)と比較して応需する処方箋の変化については、リフィル処方箋の受付実績の有無に関わらず、「変わらない」が最も多かった。

令和6年度調査(薬局票) 図表4-67



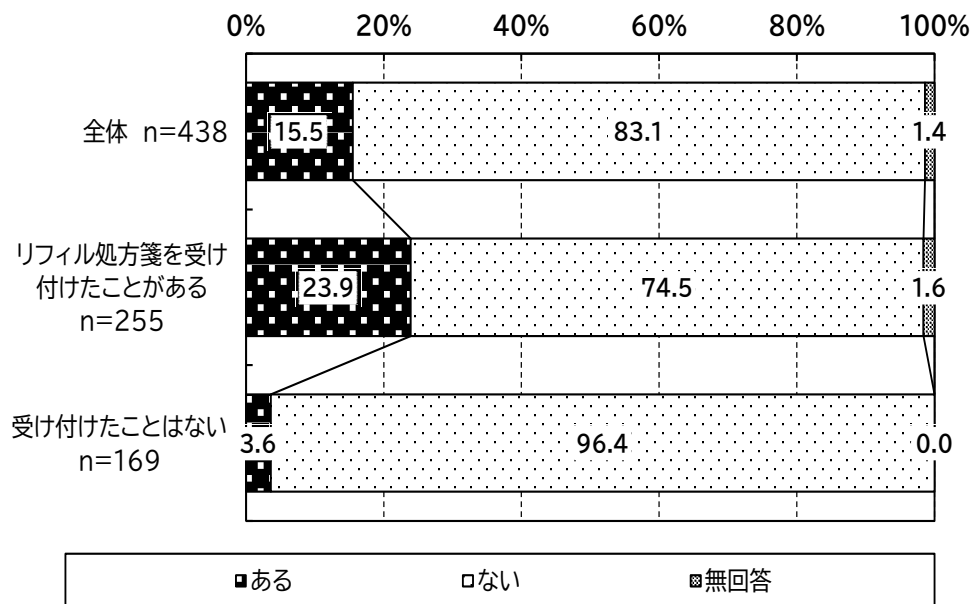
■全体 n=438 □リフィル処方箋を受け付けたことがある n=255 ▣受け付けたことはない n=169

保険薬局調査の結果⑨

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験(報告書P140)

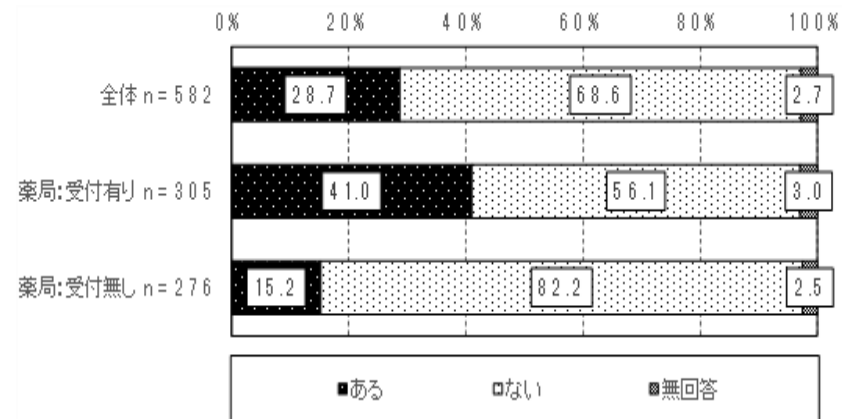
○ 患者からリフィル処方箋に関する相談を受けた経験については、「ある」と回答した割合が、リフィル処方箋を受け付けたことがある保険薬局では23.9%、リフィル処方箋を受け付けたことがない保険薬局では3.6%であった。

令和6年度調査(薬局票) 図表4-72



令和5年度調査(薬局票) 図表465

患者からのリフィル処方箋に関する相談を受けた経験
(リフィル処方箋の受付実績有無別)

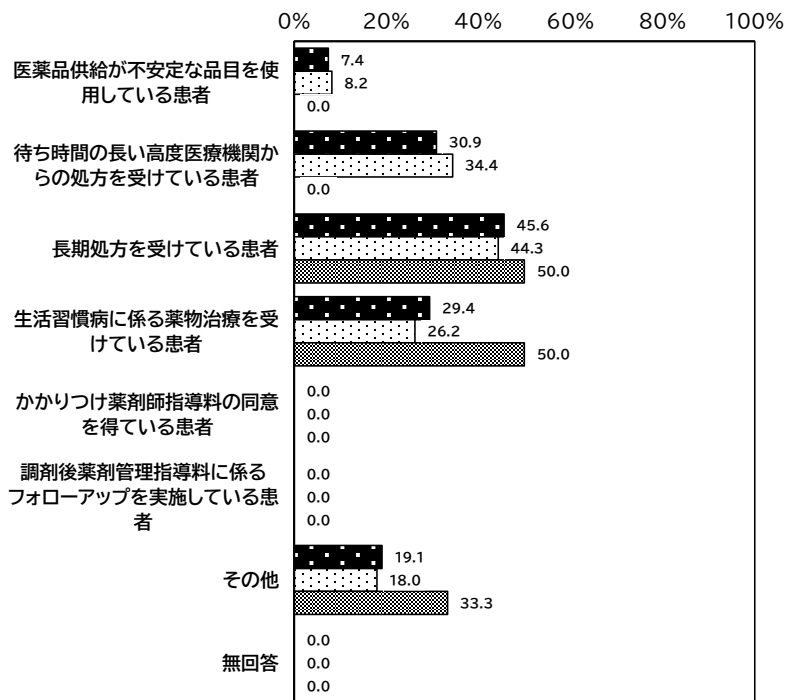


保険薬局調査の結果⑩

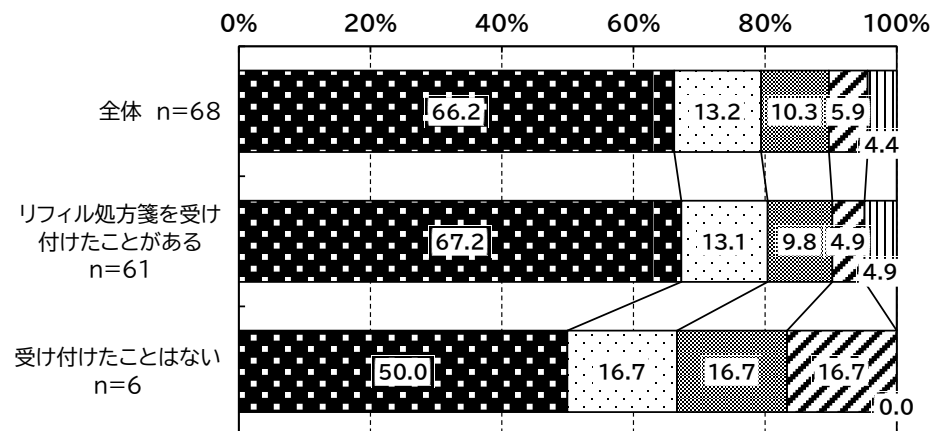
どのような患者からの相談であったか（複数回答）（新）（報告書P145・P146）

- 相談を受けた患者の特徴については、「長期処方を受けている患者」が最も多く、44.3%であった。
- 相談の内容については、「リフィル処方箋の制度内容を知りたい」が最も多く、66.2%であった。

どのような患者からの相談であったか （リフィル処方箋の受付実績有無別） （複数回答） 図表4-75



受けた相談の内容 図表4-76



- リフィル処方箋の制度内容を知りたい
- 自身がリフィル処方箋の対象になりうるか知りたい
- ▣ 医師への相談(申し出)方法について知りたい
- ▤ その他
- ▥ 無回答

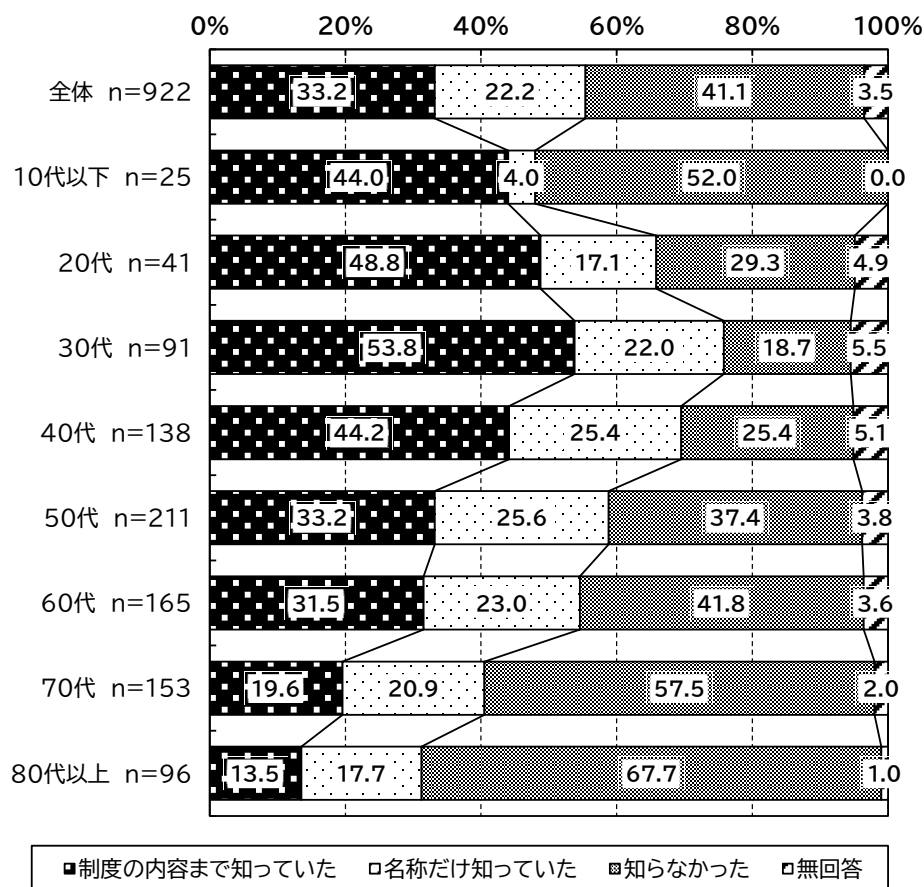
■ 全体 n=68 □ リフィル処方箋を受け付けたことがある n=61 ▣ 受け付けたことはない n=6

患者調査(郵送調査)の結果①-1

リフィル処方箋の認知度(年代別)(報告書P170)

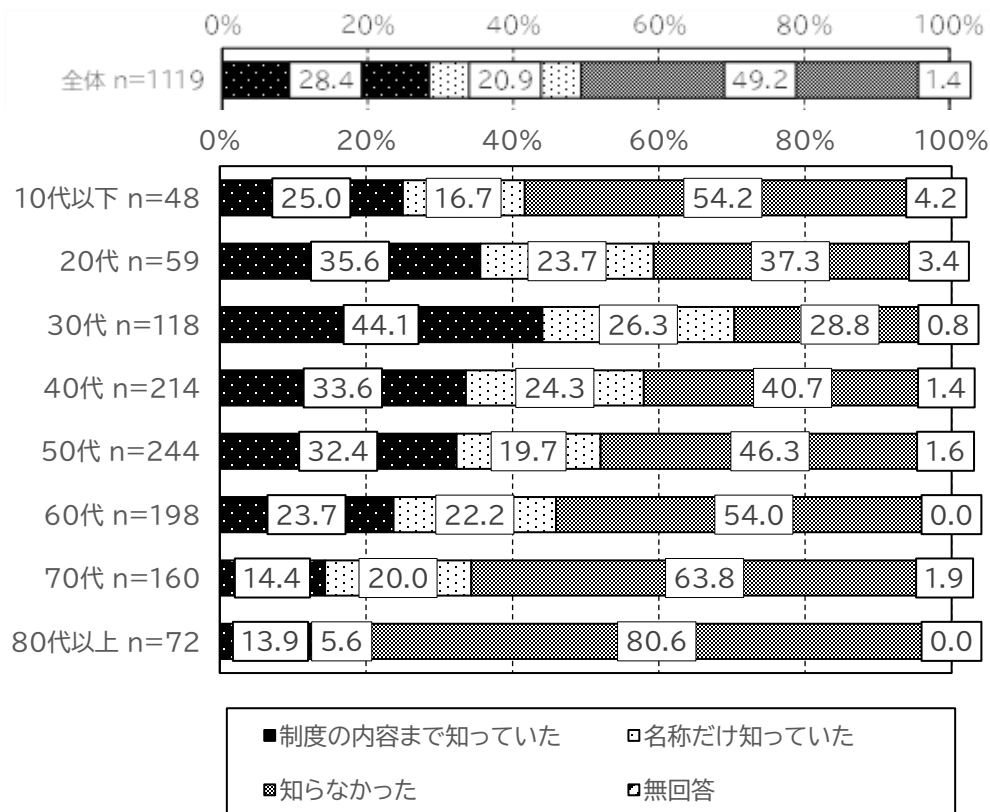
○ リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っていた」が33.2%、「名称だけ知っていた」が22.2%、「知らなかった」が41.1%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-21



令和5年度調査(患者票 郵送) 図表 5-19・20

リフィル処方箋の認知度(年代別)

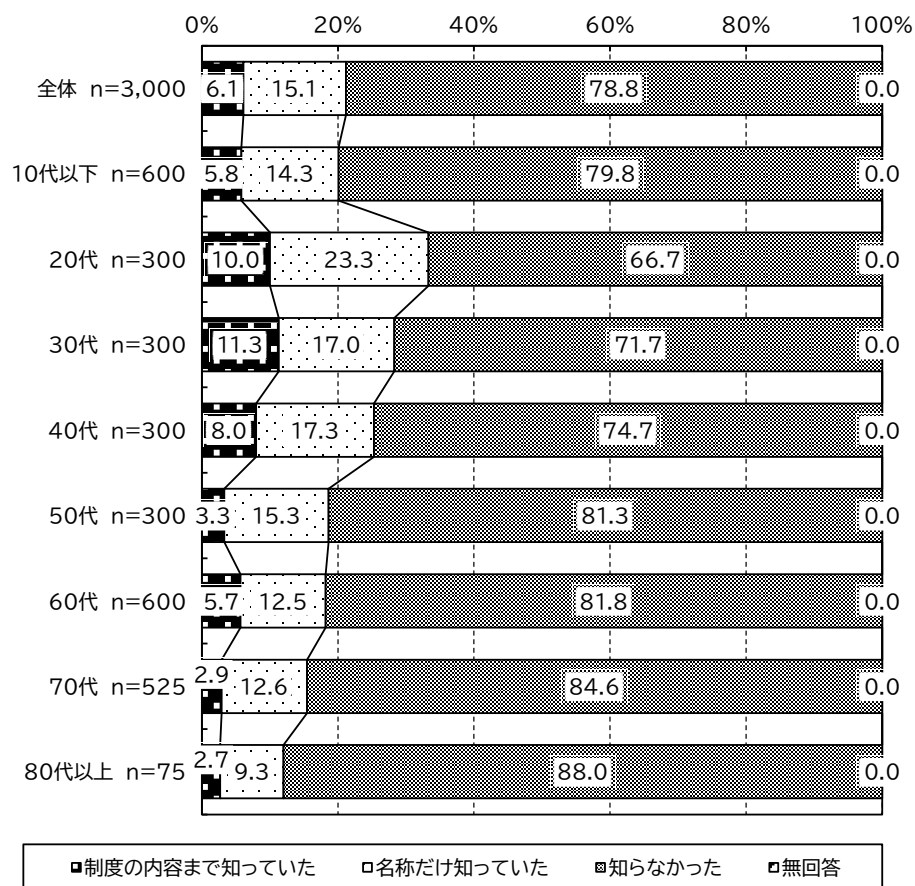


患者調査(インターネット調査)の結果①-2

リフィル処方箋の認知度(年代別)(報告書P277)

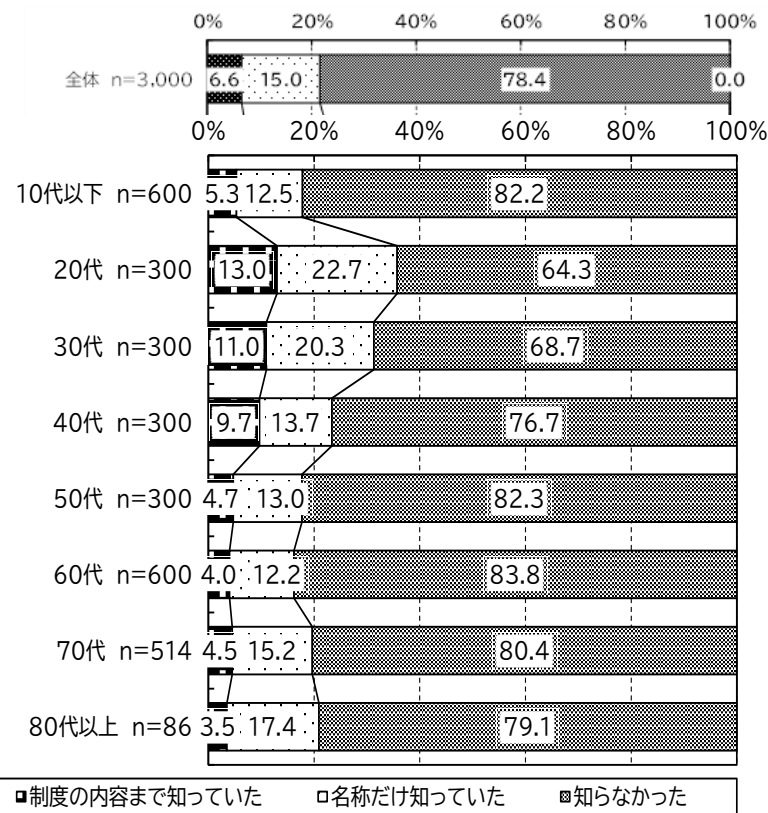
○ リフィル処方箋を知っているかについては、「制度の内容まで知っていた」が6.1%、「名称だけ知っていた」が15.1%、「知らなかった」が78.8%であった。

令和6年度調査(インターネット調査)図表6-21



令和5年度調査(インターネット調査)図表 6-19・20

リフィル処方箋の認知度(年代別)



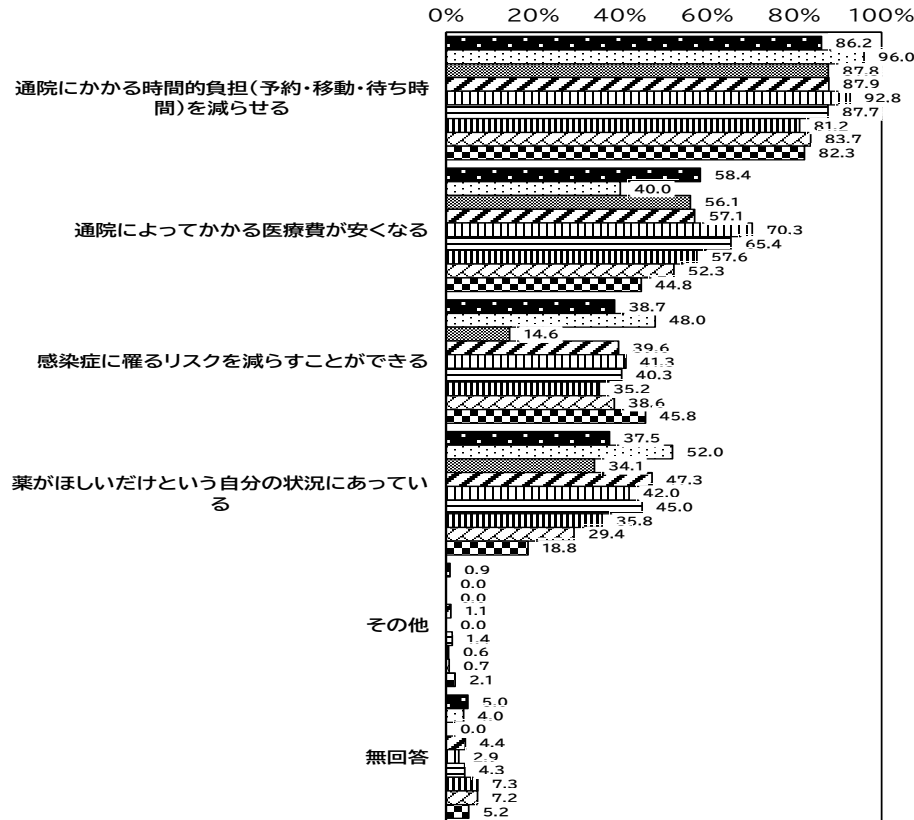
患者調査の結果②

長期処方を使用することについて、メリットになると感じるもの(複数回答)
【年代別】(新)(報告書P213・P320)

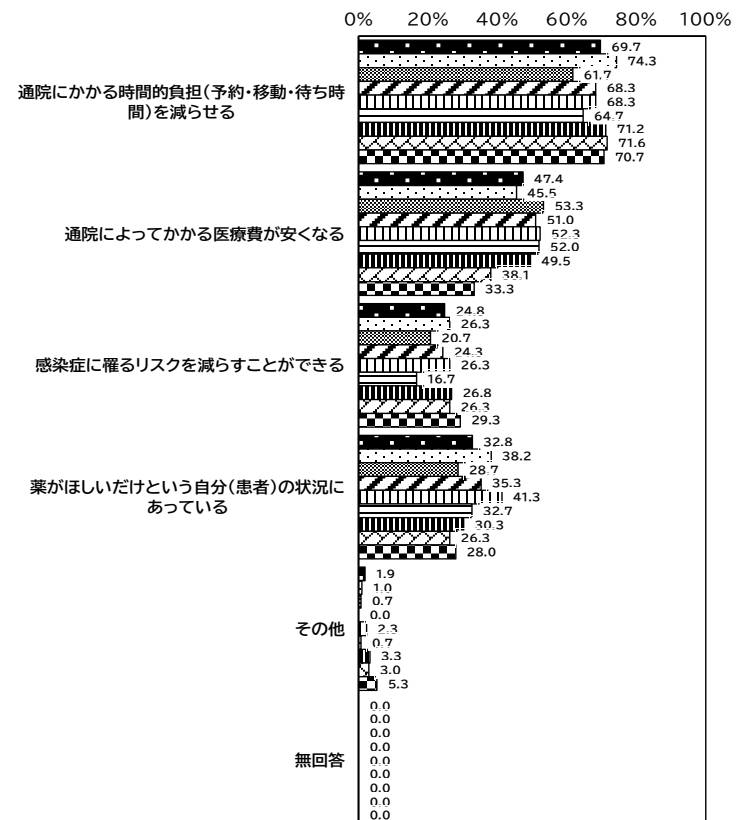
○ 長期処方の使用について、メリットと感じるものは、郵送調査・インターネット調査とも「通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる」が最も多く、その割合はそれぞれ86.2%、69.7%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-65

令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-65



■全体 n=922 □10代以下 n=25 ■20代 n=41 □30代 n=91 □40代 n=138
□50代 n=211 ■60代 n=165 □70代 n=153 ■80代以上 n=96



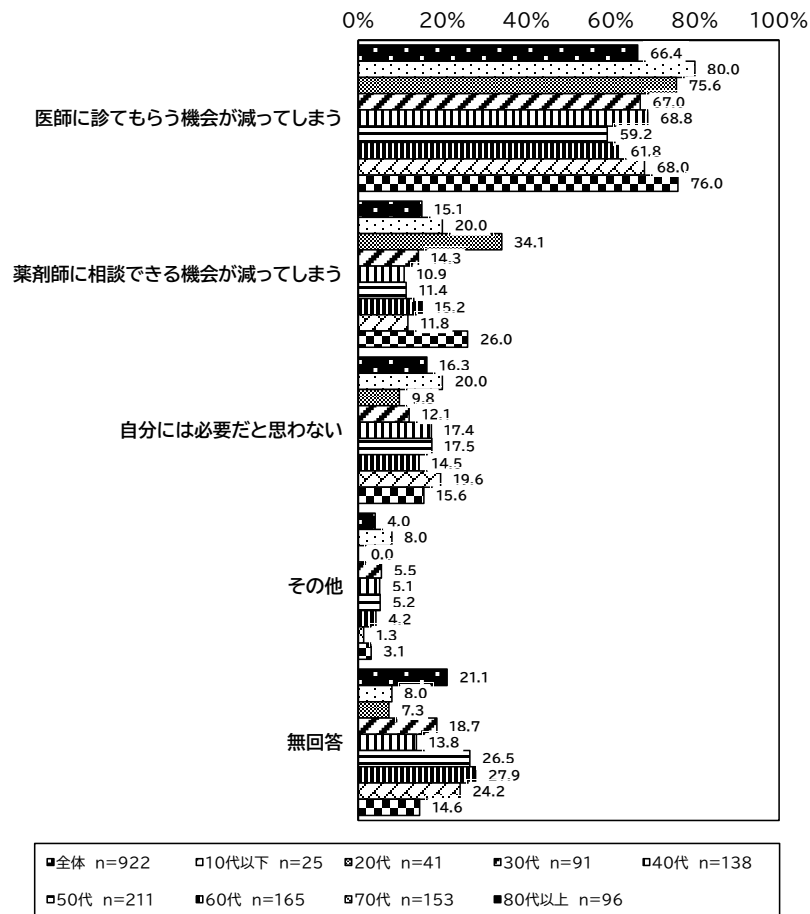
■全体 n=3,000 □10代以下 n=600 ■20代 n=300 □30代 n=300 □40代 n=300
□50代 n=300 ■60代 n=600 □70代 n=525 ■80代以上 n=75

患者調査の結果③

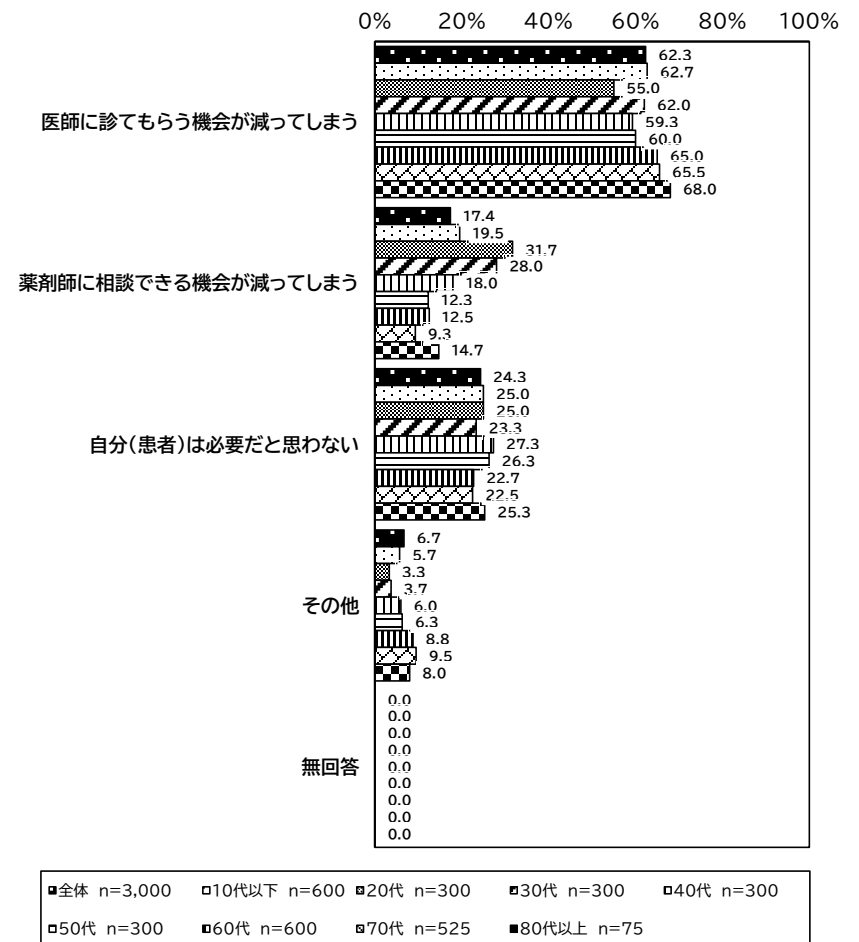
長期処方を使用することについて、デメリットになると感じるもの(複数回答)
【年代別】(新)(報告書P219・P326)

○ 長期処方の使用について、デメリットと感じるものは、郵送調査・インターネット調査とも「通院
「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く、その割合はそれぞれ66.4%、62.3%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-71



令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-71

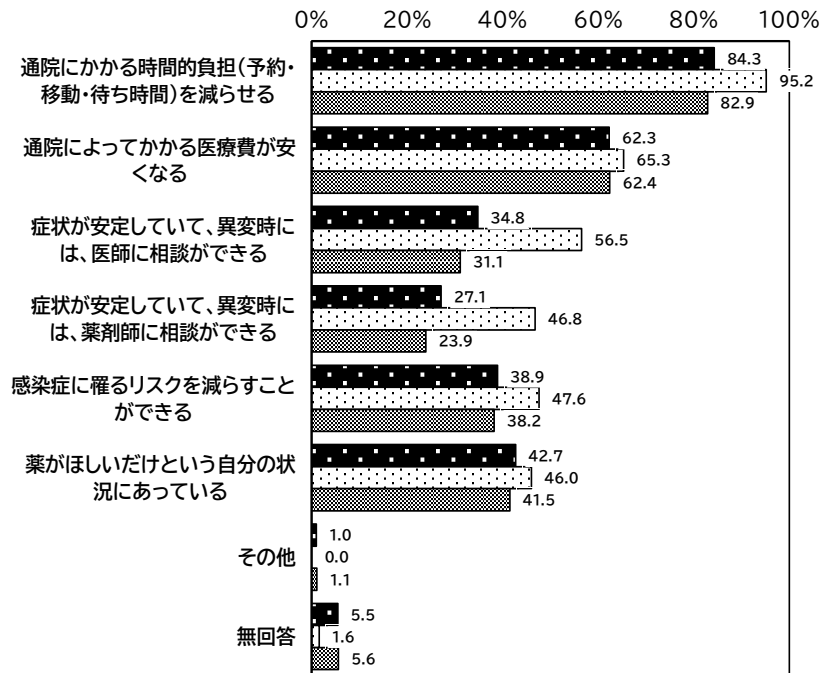


患者調査の結果④

リフィル処方箋を使用することについて、メリットになると感じるもの(複数回答)
 【リフィル処方箋を交付された経験別】(報告書P202・P309)

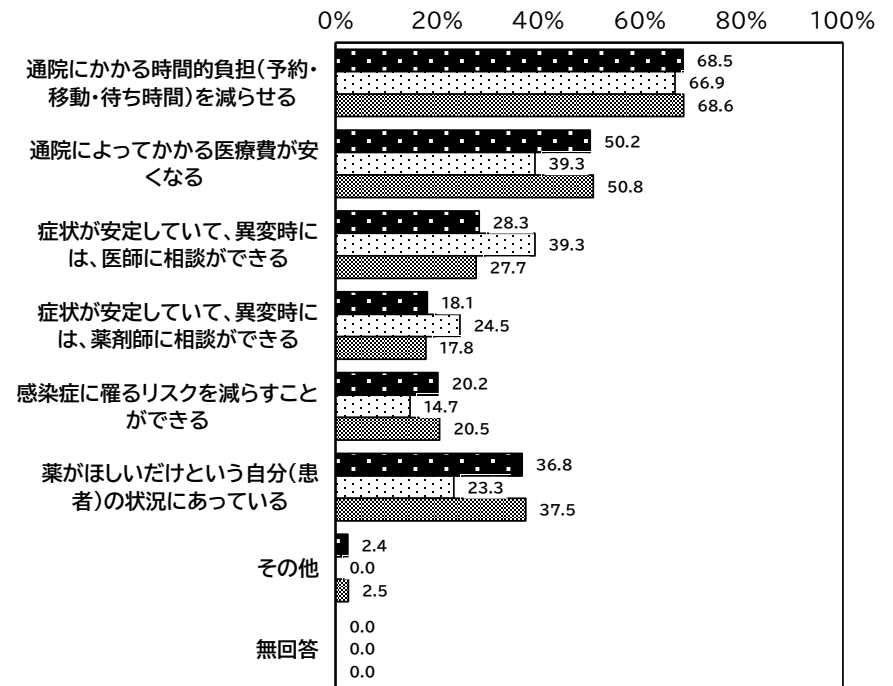
○ リフィル処方箋を使用するメリットは、郵送調査・インターネット調査とも「通院にかかる時間的負担(予約・移動・待ち時間)を減らせる」が最も多く、その割合はそれぞれ84.3%、68.5%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-54



■全体 n=922
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=124
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=702

令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-54



■全体 n=3,000
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=163
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=2,837

患者調査の結果⑤

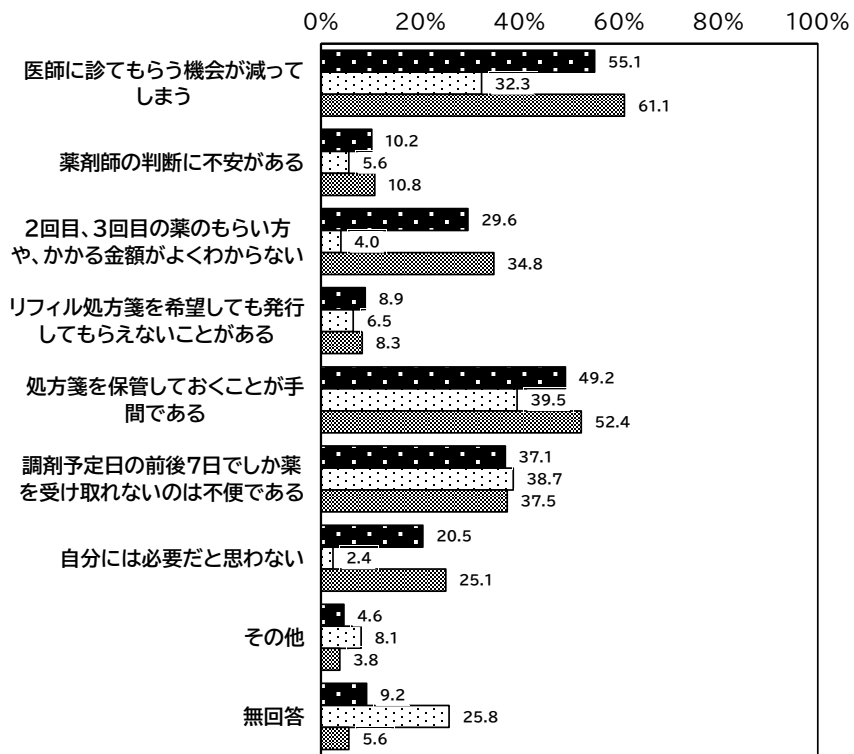
リフィル処方箋を使用することについて、デメリットになると感じるもの(複数回答)

【リフィル処方箋を交付された経験別】(報告書P208・P315)

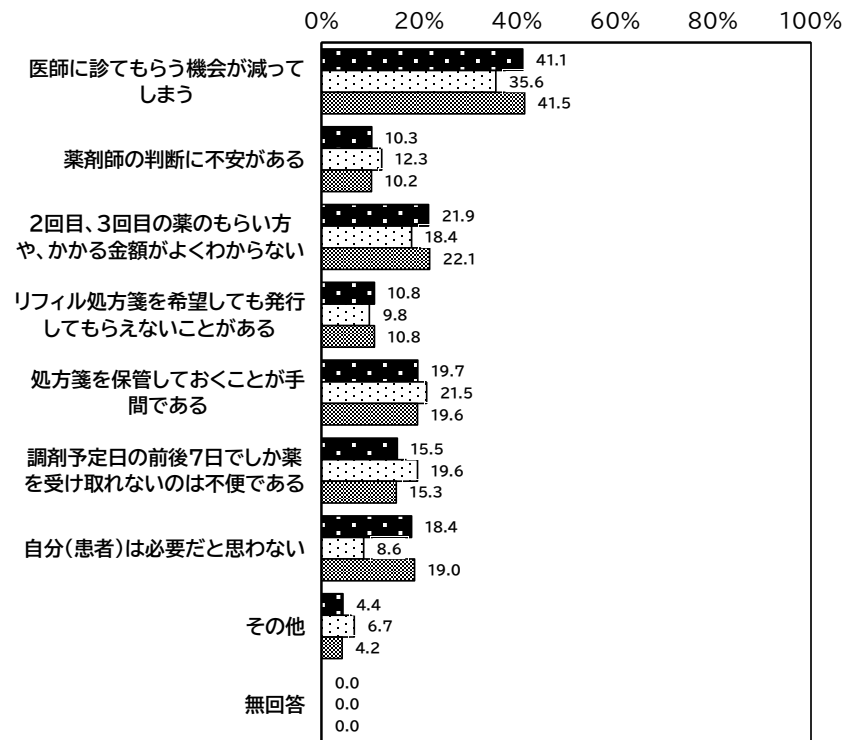
○ リフィル処方箋の利用についてデメリットと感じるものは、郵送調査・インターネット調査とも「医師に診てもらえる機会が減ってしまう」が最も多く、その割合は55.1%、41.1%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-60

令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-60



■全体 n=922
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=124
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=702



■全体 n=3,000
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=163
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=2,837

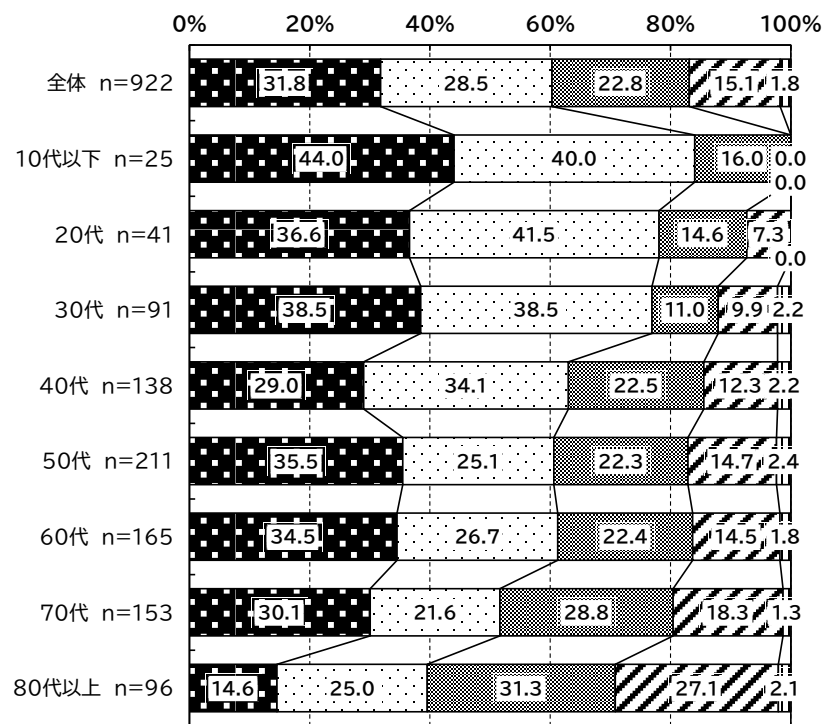
患者調査(郵送調査)の結果⑥-1

今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか

【年代別】(報告書P225)

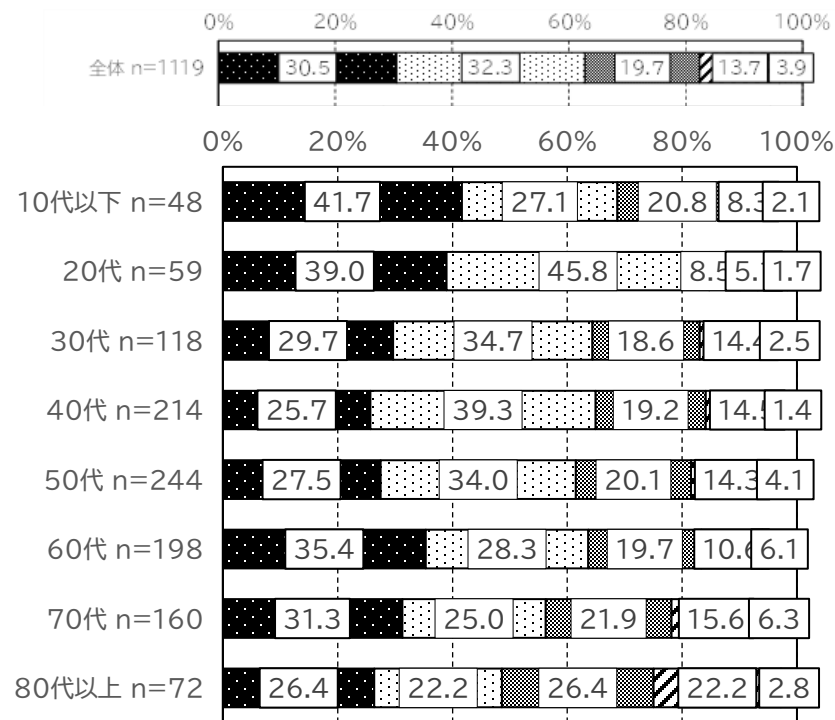
○ 今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が31.8%、「どちらかと言えば利用したい」が28.5%、「どちらかと言えば利用したくない」が22.8%、「利用したくない」が15.1%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-77



■ 利用したい
 □ どちらかと言えば利用したい
 ▨ どちらかと言えば利用したくない
 ▩ 利用したくない
 □ 無回答

令和5年度調査(患者票 郵送) 図表 5-61・62



■ 利用したい
 □ どちらかと言えば利用したい
 ▨ どちらかと言えば利用したくない
 ▩ 利用したくない
 □ 無回答

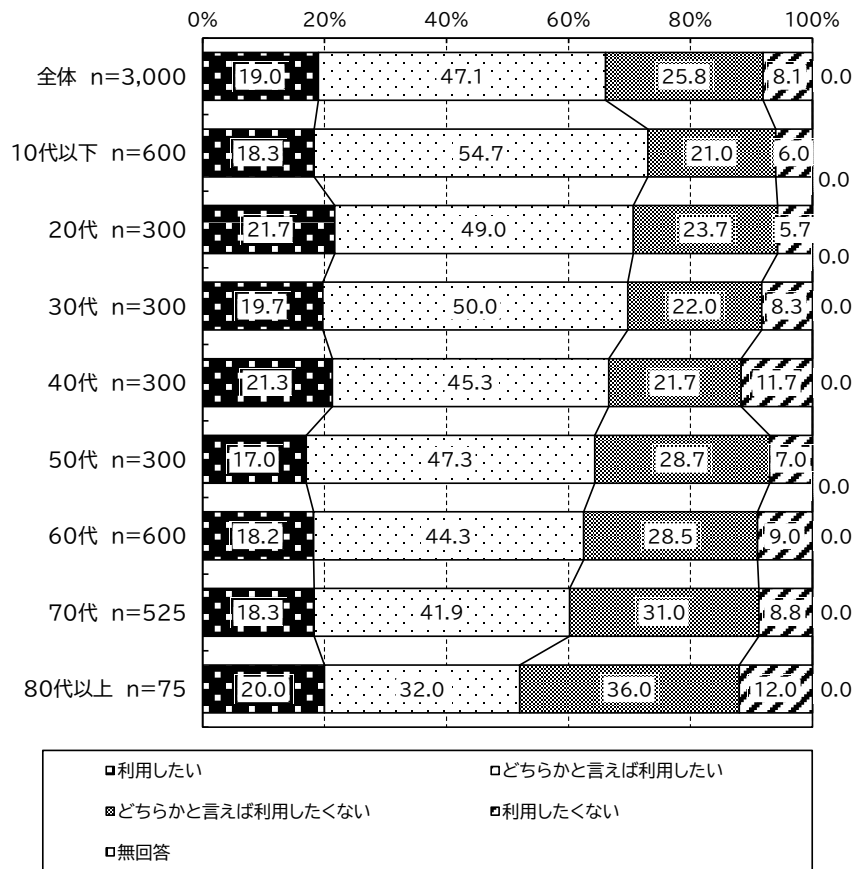
患者調査(インターネット調査)の結果⑥-2

今後、病状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいと思うか

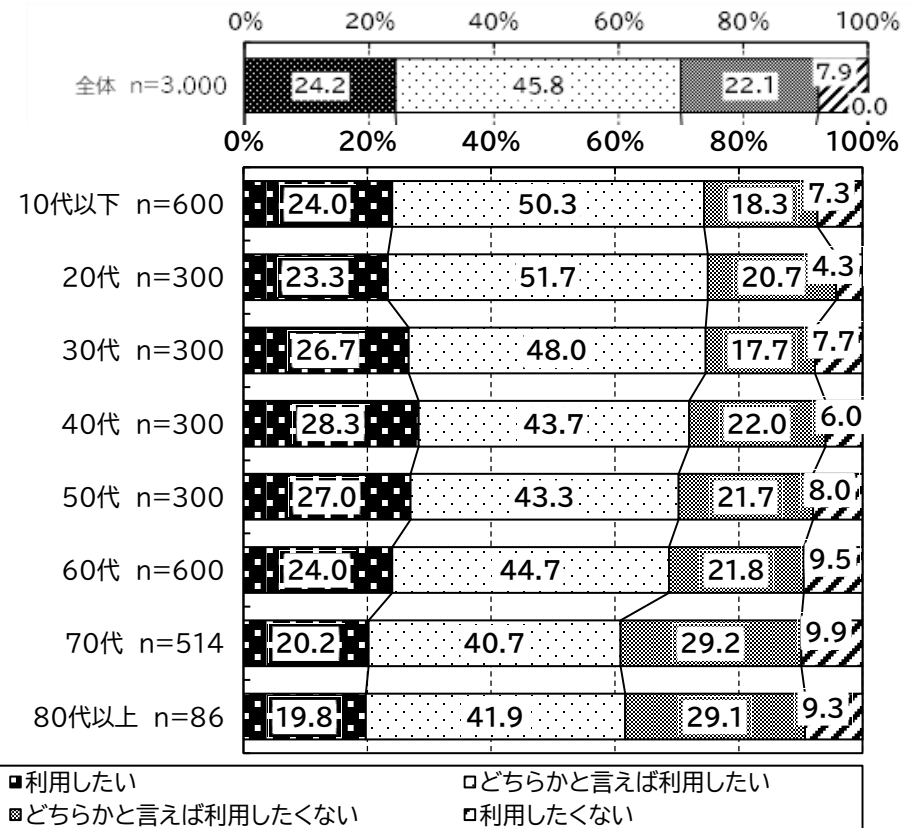
【年代別】(報告書P332)

○ 今後、症状が安定している場合にリフィル処方箋を利用したいかについては、「利用したい」が19.0%、「どちらかと言えば利用したい」が47.1%、「どちらかと言えば利用したくない」が25.8%、「利用したくない」が8.1%であった。

令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-77



令和5年度調査(インターネット調査) 図表 6-61-62



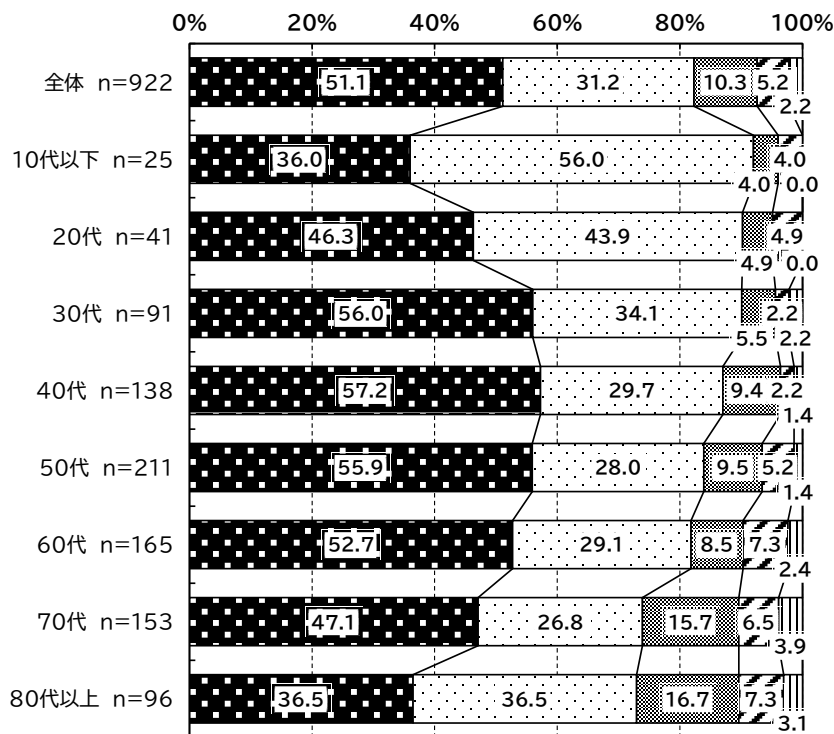
患者調査の結果⑦

今後、病状が安定している場合に長期処方を利用したいと思うか

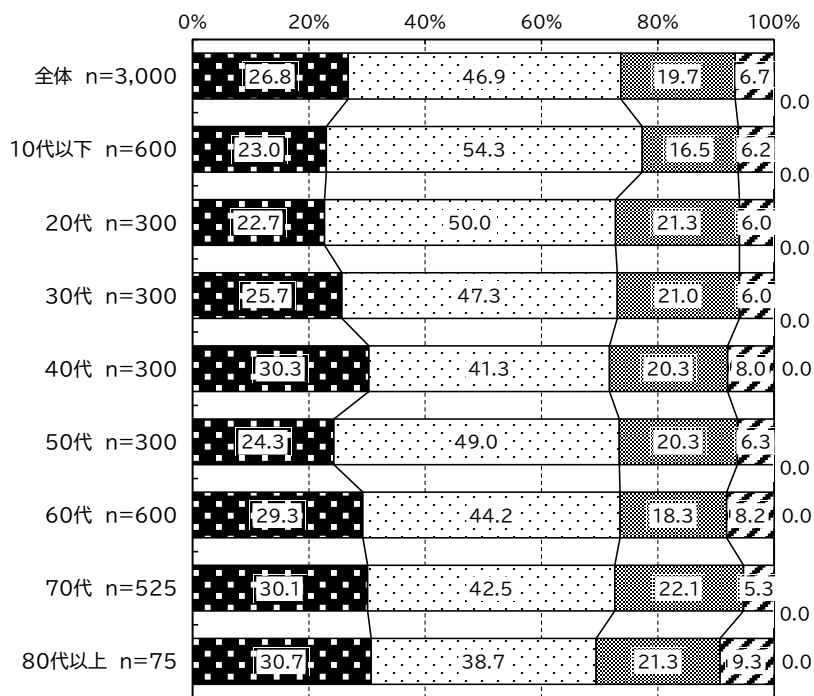
【年代別】(新) (報告書P228・P335)

○ 今後、病状が安定している場合に長期処方を利用したいと思うかについては、郵送調査では「利用したい」が51.1%、インターネット調査では「どちらかと言えば利用したい」が46.9%で最も多かった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-80



令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-80



利用したい
 どちらかと言えば利用したい
 どちらかと言えば利用したくない
 利用したくない
 無回答

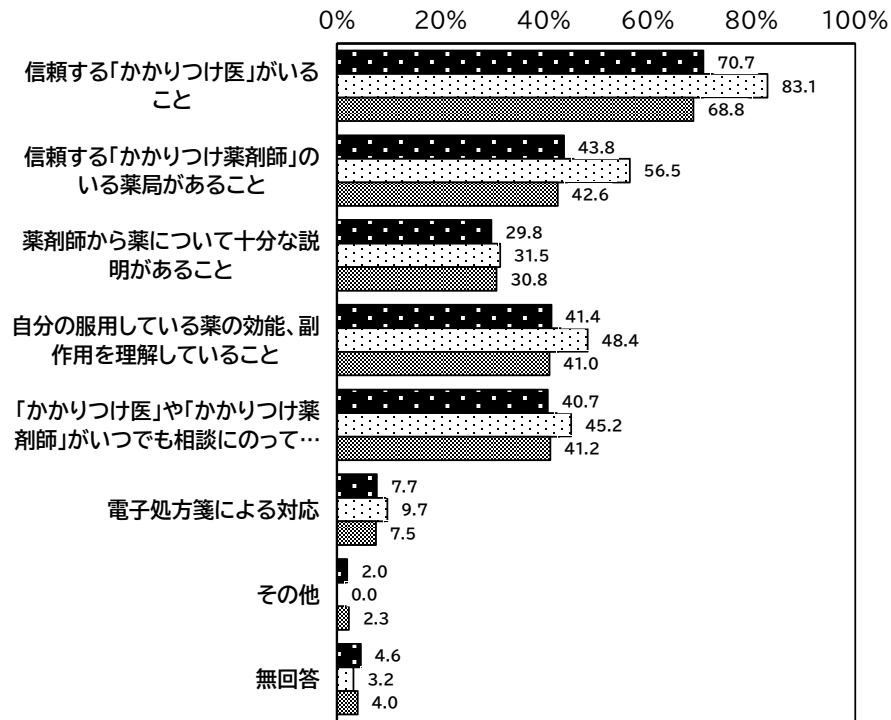
患者調査(郵送調査)の結果⑧-1

リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か(複数回答)

【リフィル処方箋を交付された経験別】(報告書P232)

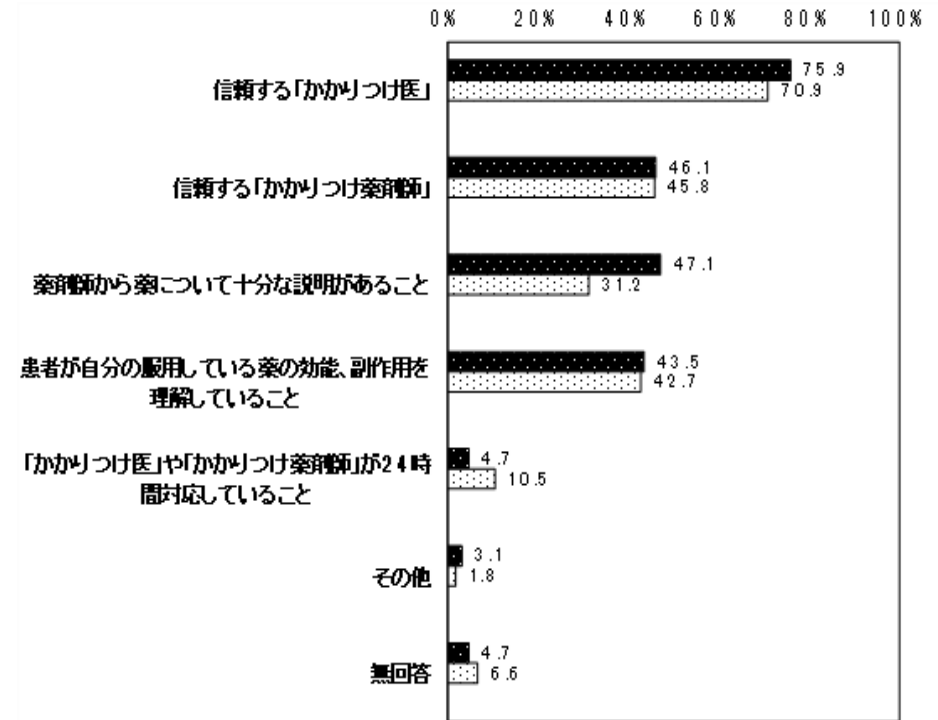
○ リフィル処方箋の利用にあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く70.7%、次いで「信頼する「かかりつけ薬剤師」がいること」が多く43.8%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-84



■全体 n=922
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=124
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=702

令和5年度調査(患者票 郵送) 図表 566



■交付されたことがある n=191 □交付されたことはない n=906

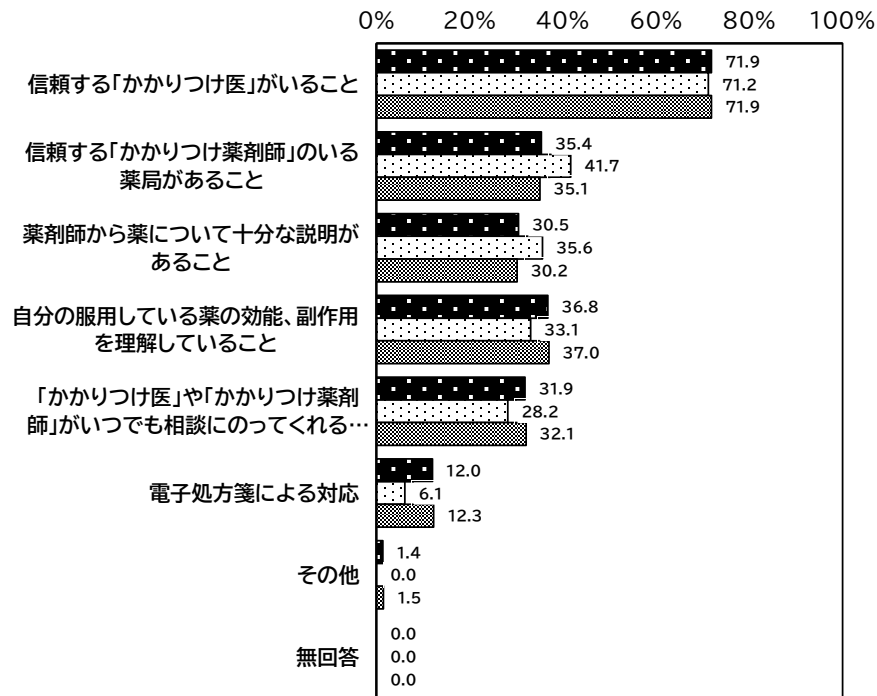
患者調査(インターネット調査)の結果⑧-2

リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か(複数回答)

【リフィル処方箋を交付された経験別】(報告書P339)

○ リフィル処方箋の利用にあたり必要だと感じることについては、「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く71.9%、次いで「自分の服用している薬の効能、副作用を理解していること」が多く36.8%であった。

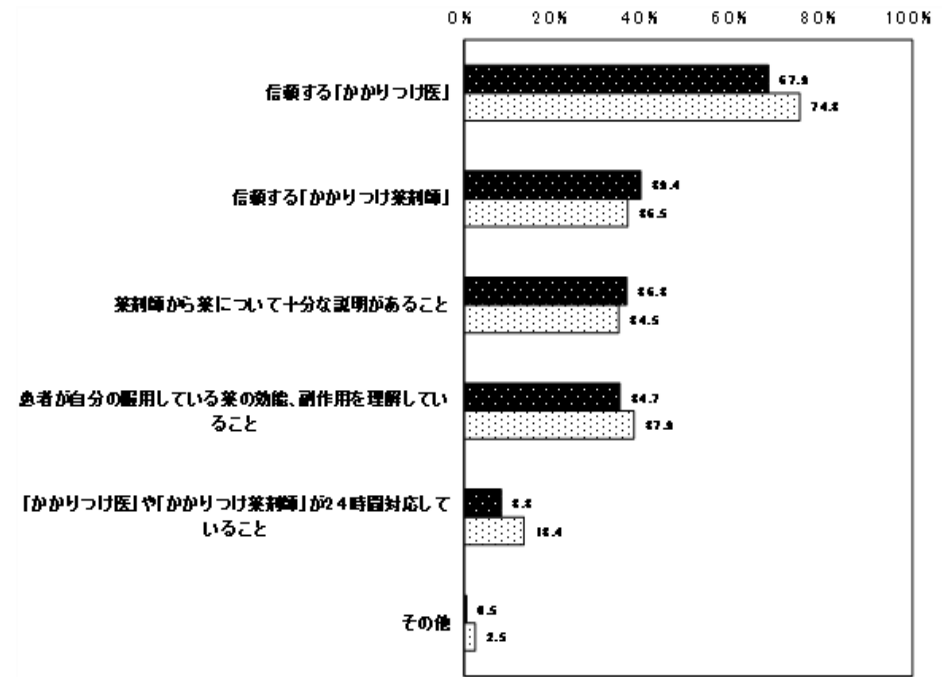
令和6年度調査(インターネット調査)図表6-87



■全体 n=3,000
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=163
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=2,837

令和5年度調査(インターネット調査)図表 666

リフィル処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か(複数回答) (リフィル処方箋を交付された経験別)



■交付されたことがある n=193 □交付されたことはない n=2,807

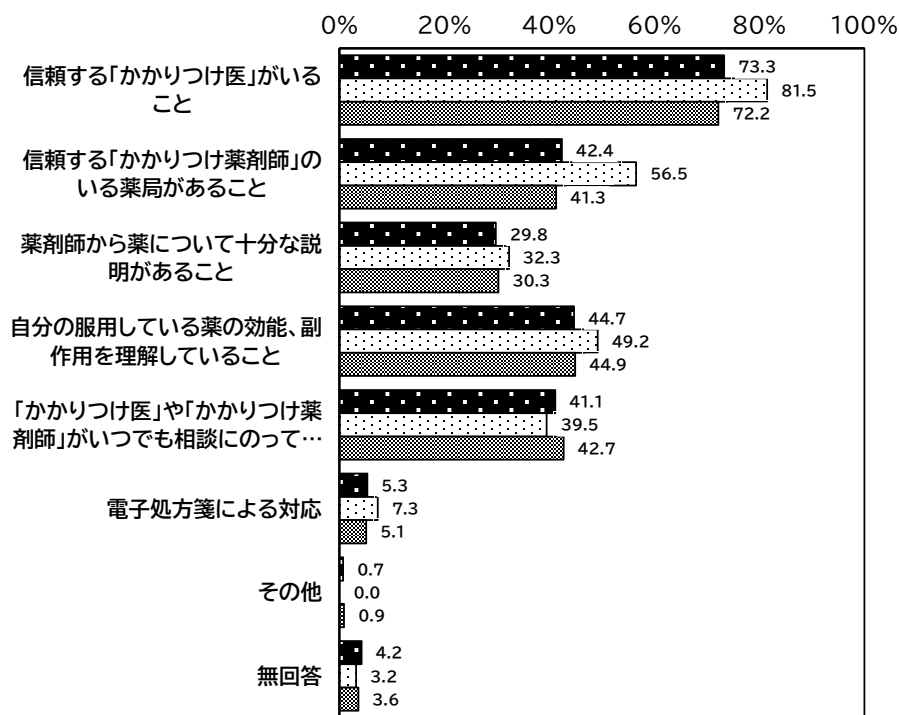
患者調査の結果⑨

長期処方を利用するにあたり必要だと感じることは何か(複数回答)

【リフィル処方箋を交付された経験別】(新)(報告書P235・P342)

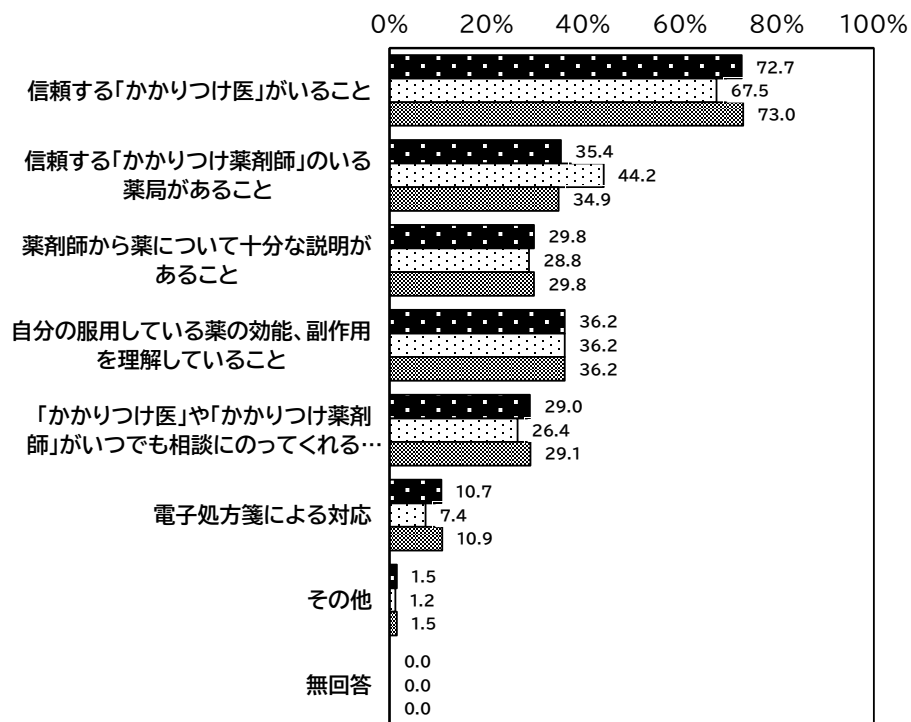
○ 長期処方の利用にあたり必要だと感じることは、郵送調査・インターネット調査とも「信頼する「かかりつけ医」がいること」が最も多く、その割合はそれぞれ73.3%、72.7%であった。

令和6年度調査(患者票 郵送) 図表5-87



■全体 n=922
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=124
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=702

令和6年度調査(インターネット調査) 図表6-87



■全体 n=3,000
 □リフィル処方箋を交付されたことがある n=163
 ▨リフィル処方箋は交付されことはない n=2,837

処方箋料（リフィル）の算定回数及び算定医療機関数の推移

○ 病院・診療所別の処方箋料の算定回数

		令和4年7月診療分	令和5年7月診療分	令和6年7月診療分
病院	リフィル処方箋 (割合)	12,091 (0.08%)	17,652 (0.12%)	20,941 (0.14%)
	全処方箋	14,404,923	14,763,527	15,449,650
診療所	リフィル処方箋 (割合)	15,034 (0.03%)	17,080 (0.03%)	29,255 (0.05%)
	全処方箋	48,049,131	53,225,694	55,827,371
全体	リフィル処方箋 (割合)	28,443 (0.04%)	35,162 (0.05%)	51,048 (0.07%)
	全処方箋	65,840,641	70,044,503	73,176,800

○ 病院・診療所別の処方箋料（リフィル）の算定医療機関数

	令和4年7月診療分	令和5年7月診療分	令和6年7月診療分
病院	929	944	970
診療所	2,367	2,444	3,289
全体	3,481	3,495	4,386

出典：NDBデータ(令和4年7月、令和5年7月、令和6年7月)

※ 全体数には、病院・診療所のいずれに該当するか不明であった件数が含まれている。

リフィル処方箋及び長期処方箋の受付状況（調剤レセプトにおける分析）

○ リフィル処方箋の受付状況

	令和4年7月診療分		令和5年7月診療分		令和6年7月診療分	
	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数
リフィル処方箋 1/2回目	3,148	12,624	5,078	19,468	6,961	28,071
リフィル処方箋 2/2回目	2,842	9,347	5,129	16,999	7,438	24,865
リフィル処方箋 1/3回目	3,252	9,098	3,673	10,280	4,709	13,256
リフィル処方箋 2/3回目	2,494	5,271	4,043	9,121	5,531	12,950
リフィル処方箋 3/3回目	2,180	4,593	3,607	7,702	4,626	10,341
リフィル処方箋の合計	9,074	40,761	13,071	63,136	17,139	89,153
全処方箋	59,429	70,123,612	59,966	74,660,403	60,570	77,575,695

○ 長期処方箋の受付状況

※ 長期処方箋の処方箋とは 処方箋受付毎の最大調剤数量（最大投与日数）が28日以上の処方箋（リフィル処方箋の場合を除く。）としている。

	令和4年7月診療分		令和5年7月診療分		令和6年7月診療分	
	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数	薬局数	受付回数
長期処方箋の処方箋（※）	59,378	34,457,482 (49.1%)	59,917	35,144,849 (47.1%)	60,519	37,131,496 (47.9%)
全処方箋	59,429	70,123,612	59,966	74,660,403	60,570	77,575,695